

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	02保健センター管理運営事業	
細事業名	01 保健センター管理運営事業			決算書	P.174
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり			
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
758千円	894千円	136千円	84.7%	840千円	
目的	乳幼児健診、総合健診、健康指導及び健康教育等の保健活動の拠点となる保健センター（大宮・網野）の適切な管理を行い、市民の疾病予防、健康の保持増進を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>保健センター（大宮・網野）の適切な管理を行った。</p> <p>○大宮保健センター（利用者：26件、1,095人） 87千円          プロパンガスの燃料費 33千円          設備撤去手数料 54千円</p> <p>○網野保健センター（利用者：109件、2,984人） 671千円          消耗品費 3千円          プロパンガスの燃料費 36千円          光熱水費（電気・水道） 538千円          施設修繕料 7千円          火災保険料 5千円          施設清掃等の委託料 82千円</p> <p>○丹後保健センター（利用者：3件、563人）          ※維持管理経費は丹後庁舎管理事業から支出</p> <p>○弥栄保健センター（利用者：5件、458人）          ※維持管理経費は弥栄庁舎管理事業から支出</p> <p>○久美浜保健センター（利用者：5件、423人）          ※維持管理経費は久美浜庁舎管理事業から支出</p>				
主な財源					
成果・課題	施設の適正な維持管理を行うことで、各種保健事業が円滑に実施され、健康増進の拠点として貢献することができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	03自殺予防対策事業	
細事業名	01 自殺予防対策事業			決算書	P.176
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり			
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,884千円	1,985千円	101千円	94.9%	3,263千円	
目的	「京丹後市自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、自殺ゼロを目指し、市民、行政、関係機関、団体等が一体となって自殺予防事業を推進する。				
主要な事務・事業の概要	<p>「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」の構成団体と連携し、各種事業を実施した。さらに市民への啓発活動として、4回の街頭啓発と丹後町文化祭での啓発活動を実施し、1,500人に啓発物品を配布した。</p> <p>○フリーアクセスによる無料電話相談 377千円          ・フリーアクセス設置謝金（京都いのちの電話） 100千円          ・フリーアクセス通話料 375件 277千円</p> <p>○こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会 163千円          ・初級講座2回・中級講座2回（参加者：延べ184人）          ※悩みを抱えている人に「気づき」「話を聴き」「相談先につなぎ」「見守る」ことのできる人材を育成</p> <p>○臨床心理士によるこころの健康相談 130千円          ・4月～9月（月1回、相談者延べ11人）          ・10月～3月（月2回、相談者延べ31人）</p> <p>○こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会 136千円          ・6月11日（土）参加者：88人・「健康相談会」参加者：1人          ・演題：「こころの処方箋～笑いは健康の常備薬～」          ・講師：NPO法人健康笑い塾主宰 中井宏次氏</p> <p>○街頭啓発（自殺ゼロ実現推進協議会構成団体等） 50千円          ・年間5回、8会場において実施（啓発物品配布数：1,500セット）</p> <p>○こころの健診（うつスクリーニング） 110千円          ・丹後・弥栄地域を対象に実施（9会場：519人）</p> <p>○Teensこころの葉（市内小・中・高校の卒業生1,545人に配布） 205千円</p> <p>○研修関係旅費等 436千円</p> <p>○その他共通経費（消耗品・印刷製本等） 277千円</p>				
主な財源	府補	自殺対策事業補助金（1/2又は5/6）			849千円
成果・課題	<p>○ゲートキーパー養成研修を実施し、悩んでいる人のSOSに気づき、傾聴し、相談窓口につなぎ、見守ることの重要性について理解を深めてもらうことができた。</p> <p>○総合的な自殺予防事業を推進するため、引き続き、ゲートキーパーの活動、若年層対策、自殺未遂者・自死遺族支援について、本市の実情に応じた施策を展開していく必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	04健康増進計画策定事業		
細事業名	01 健康増進計画策定事業			決算書	P.176	
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり				
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
2,420千円	2,529千円	109千円	95.6%	0千円		
目的	市民一人ひとりの健康寿命の延伸のため、“食育の推進”を含む「京丹後市健康推進計画」を策定する。					
主要な 事務・ 事業の 概要	<p>第1次京丹後市健康増進計画が平成28年度で計画期間を終了することから、食育推進計画を含んだ第2次京丹後市健康増進計画を策定した。</p> <p>(計画概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念：みんなでひろげよう健康づくりと食育の「環」「和」「輪」</li> <li>・基本方針：①健康寿命の延伸 ②生涯を通じた健康づくり ③一次予防を重視した健康づくり ④市民が主体的に取り組める環境整備と体制の構築</li> <li>・計画期間：平成29～33年度(5年間)</li> </ul> <p>○消耗品費 44千円</p> <p>○委託料(計画策定業務委託料) 2,376千円</p> <p>【策定までの経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の検討 健康とまちづくり審議会：2回 健康づくり推進部会：5回 庁内食育推進会議：3回 食育推進ネットワーク会議：2回</li> <li>・各関係機関・団体・関係部局へのヒヤリング</li> <li>・パブリックコメントの実施：平成29年2月21日～3月13日</li> </ul> <p>※平成29年度に冊子及び概要版の印刷を行う。</p>					
	主な財源					
成果・課題	<p>今後は、策定した計画に基づき、健康づくりと食育を推進するための取組を進めていく必要がある。</p>					
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	50保健衛生総務一般経費		
細事業名	01 保健衛生総務一般経費			決算書	P.176	
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり				
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
7,031千円	7,072千円	41千円	99.4%	8,866千円		
目的	各種保健事業を円滑に実施するために必要な臨時職員賃金、研修旅費、各種負担金などの経費を支出することにより、市民の健康増進を図る。					
主要な 事務・ 事業の 概要	<p>産休代替保健師の任用、各種研修・研究会等への参加及び旧丹後保健センターの維持管理を実施した。</p> <p>○臨時保健師の任用経費 2,054千円 臨時保健師賃金・社会保険料 2,054千円</p> <p>○職員研修等経費 378千円 各種旅費(研修旅費等) 378千円</p> <p>○旧丹後保健センター維持管理経費 18千円 光熱水費 4千円 火災保険料 6千円 消防設備等保守点検委託料 8千円</p> <p>○健康管理システム保守経費(負担金) 1,752千円 共同利用負担金(保守経費) 1,752千円</p> <p>○骨髄ドナー助成金(2件) 280千円</p> <p>○その他の経費 2,549千円 栄養士会・保健師協議会等負担金 89千円 消耗品費・燃料費・公用車修繕料・医薬材料費 186千円 事務補助業務人材派遣委託料 2,200千円 ワクチン接種委託料 9千円 自動車損害保険料 40千円 総合賠償保障保険料 7千円 有料道路通行料 17千円 事故証明手数料 1千円</p>					
	主な財源	国補	感染症予防事業費補助金(1/2)	60千円		
	府補	骨髄ドナー助成事業補助金(1/2)	140千円			
	府補	産学公連携プラットフォームの活用事業費補助金(10/10)	11千円			
	諸収入	市有自動車損害共済金(10/10)	1千円			
成果・課題	<p>○保健業務を円滑に実施することができた。</p> <p>○研究会等への参加により、専門職としての知識を得ることができた。</p>					
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	01食育推進事業	
細事業名	01 食育推進事業			決算書	P.178
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり			
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
412千円	760千円	348千円	54.2%	748千円	
目的	市民の食育に対する理解を深めるため、「京丹後市食育推進基本方針」に基づき、啓発活動や関係機関・団体等との連携を行い、食育を推進する。				
主要な事業・事業の概要	<p>市民を対象にした食育イベントや食生活改善推進員の養成・育成を行い、地域において食育伝達講習を実施した。さらに、食文化伝承推進事業として小・中学校の児童生徒を対象に食生活改善推進員を派遣し、郷土食調理指導を行った。</p> <p>また、関係機関や団体等との連携のための食育推進ネットワークを開催し、食をとりまく現状や課題を共有した。</p> <p>○食生活改善推進員研修会・伝達講習会 107千円  講師謝金 28千円  講師：弥栄病院医師 森本忠信氏 (参加人数 65人)  需用費 78千円  会場借上料 1千円</p> <p>○京都府食育協議会負担金 305千円</p> <p>京都府食育協議会に参画し『「和食」と地域食文化継承推進事業』を実施した(京都府内で食育の推進に関する事業を行うことを目的に京都府、綾部市、京丹後市、きょうと食育ネットワークの4団体が「京都府食育協議会」を構成・設立)。</p>				
	<p>(協議会での主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員の養成(養成人数:9人)</li> <li>・食生活改善推進員の育成(研修会8回開催、参加人数:延べ118人)</li> <li>・地域での食育伝達講習会(36回開催、参加人数:延べ598人)</li> <li>・食文化伝承推進事業(9校14回開催、参加児童・生徒数:338人)</li> <li>・食育の啓発イベントの開催(商工祭にて実施、ばら寿司デコレーション体験ほか)</li> <li>・食育推進ネットワークの開催(年2回、委員:16団体17人) (保健、農林水産、商工観光、教育等関係団体で構成)</li> </ul>				
主な財源					
成果・課題	<p>○京都府食育協議会を通じた取組により、地域における食育の普及活動や市民の食育・健康づくりを支援することができた。</p> <p>○京丹後市食育推進ネットワークによる関係機関・団体等と更に連携して取組を推進する必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	02健康長寿のまちづくり推進事業	
細事業名	03 健康楽歩里ポイント事業			決算書	P.178
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり			
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,272千円	1,376千円	104千円	92.4%	707千円	
目的	健康的な生活習慣のきっかけづくりとして健康楽歩里ポイント事業及びウォーキングイベントを実施し、市民の健康的な生活習慣の定着や継続を推進する。				
主要な事業・事業の概要	<p>○健康楽歩里ポイント事業 467千円</p> <p>市民が立てた自己目標の達成やウォーキング及び保健事業等に参加することに対してポイントを付与し、配布したポイントカードに記録する。</p> <p>【チャレンジ期間】 5~7月と9~11月の2回の期間で実施  【チャレンジカード】 作成:3,000部、配布:2,439部、提出:149人  【ポイント活用方法】 ①健康関連グッズが当たる抽選に参加  ②ウォーキングコースの環境整備に活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費(健康関連グッズ:43人分) 38千円</li> <li>・消耗品費(ウォーキングコース看板3基など) 358千円</li> <li>・その他経費(印刷製本費・通信運搬費など) 71千円</li> </ul> <p>○ジオ健康ウォーキング・ノルディックウォーク講習会 82千円</p> <p>【開催日】5月15日(日) 【参加者】144人  【開催場所】丹後王国「食のみやこ」園内及び周辺(約4.6km)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・需用費(ウォーキング啓発グッズ・消耗品等) 12千円</li> <li>・印刷製本費(チラシ印刷代) 70千円</li> </ul> <p>○産学公連携によるプラットフォーム事業 723千円</p> <p>市民の健康寿命の延伸を図るため、産学公による連携チームにて、健康楽歩里ポイント事業の評価とIT活用による効果等について検討した。</p> <p>【チーム構成】京都工芸繊維大学、(株)コギト、京都府  【実施内容】①チーム会議5回、②Web版試作運用実施、③情報交換会出席2回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費(委員謝金) 212千円</li> <li>・旅費(職員旅費) 48千円</li> <li>・委託料(Web版試作運用サポート業務) 324千円</li> <li>・その他経費(消耗品・会場借上料・有料道路通行料など) 139千円</li> </ul>				
	主な財源	府補 産学公連携プラットフォーム構築事業費補助金(10/10)			
成果・課題	<p>○健康楽歩里ポイント事業やウォーキングイベントを実施することにより、市民のウォーキングのきっかけづくりや健康意識に寄与することができた。しかし、健康楽歩里ポイント事業は、参加者の増加には至らなかった。</p> <p>○健康的な生活習慣の定着や継続を目指すために、関係機関との連携を図りながら「歩いて進める健康づくり」の取組を再構築していく必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	03健康づくり推進員活動事業																
細事業名	01 健康づくり推進員活動事業			決算書	P.178															
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり																		
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進																		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																
1,160千円	1,278千円	118千円	90.7%	1,278千円																
目的	健康づくり推進員の育成及び健康づくりに関する地区活動を支援し、地域における市民主体の健康づくりを推進する。																			
主要な事務・事業の概要	<p>健康づくり推進員を対象に健康づくりや体づくりについて、医師、健康運動指導士による研修を実施した。また、健康関連イベントの情報提供、講師派遣等を行い、推進員による地域活動を支援するとともに、地域における市民主体の健康づくりを推進した。</p> <p>○育成のための研修会等の開催 345千円  研修会講師・健康運動士謝金等 97千円  需用費(研修会に係る消耗品) 74千円  役務費(案内、便り等の郵送代) 174千円  ・全体研修会(1回) 参加人数: 94人  演題:「ウォーキングから動ける100歳代へ～運動を常備薬にしよう～」  講師:京都学園大学経営経済学部 教授 吉中康子氏</p> <p>・ブロック別研修会(4ブロック) 参加人数: 130人  前期:体づくりの講話と正しいウォーキング演習(家谷美穂子健康運動指導士)  後期:口腔衛生と噛む大切さについての講和と演習(保健所 渡邊功歯科医師)</p> <p>・推進員便りの発行(年4回)</p> <p>○地区活動の支援 815千円  健康づくり推進員活動謝礼品(3,000円×224人) 672千円  需用費(活動に係る消耗品等) 143千円  ・地区健康教室の開催(7回) 参加人数: 132人  ・健康イベントへの協力、サザエさん体操の普及活動等 参加人数: 22人  (シオ健康ウォーキング、健康づくり講演会等)</p> <p>○健康づくり推進員人数(平成29年3月31日現在)</p> <table border="1"> <tr> <td>峰山町</td> <td>大宮町</td> <td>網野町</td> <td>丹後町</td> <td>弥栄町</td> <td>久美浜町</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>42人</td> <td>32人</td> <td>49人</td> <td>20人</td> <td>15人</td> <td>66人</td> <td>224人</td> </tr> </table> <p>任期:平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年間)</p>						峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	42人	32人	49人	20人	15人	66人	224人
峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計														
42人	32人	49人	20人	15人	66人	224人														
主な財源	府補 健康増進事業費等補助金(2/3)			352千円																
成果・課題	<p>○健康づくり推進員への研修会等の開催を通じ、市民の健康意識の向上を図ることができた。</p> <p>○推進員が地域でウォーキングや体操等の教室を開催し、積極的に地区活動に取り組みされた。区や福祉委員と協力し地域ぐるみで健康づくりに取り組まれている地域も見られた。</p> <p>○地区での活動に地域差がある中、研修会や講師の派遣等を行い、引き続き、健康づくり推進員の活動を推進していく必要がある。</p>																			
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課																			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	01不妊・不育症治療費助成事業																																																																		
細事業名	01 不妊・不育症治療費助成金			決算書	P.178																																																																	
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり																																																																				
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進																																																																				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																																		
701千円	716千円	15千円	97.9%	2,014千円																																																																		
目的	少子化対策の一環として、不妊・不育治療を受けている夫婦に対して、治療費用の一部を助成することにより、安心して治療が受けられる環境を整える。																																																																					
主要な事務・事業の概要	<p>対象者: 府内に1年以上居住し、かつ京丹後市内に住所を有する夫婦  治療対象: ① 一般不妊(医療保険適用の治療、人工授精)  ② 不育症(ヘパリン注射、不育症の原因検査)  ③ 男性不妊(TESE、MESA)*平成28年1月19日までの治療が対象</p> <p>&lt;不妊治療費助成金交付実績&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>30人</td> <td>32人</td> <td>37人</td> <td>34人</td> <td>49人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>35件</td> <td>40件</td> <td>43件</td> <td>37件</td> <td>63件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>1,018千円</td> <td>1,179千円</td> <td>1,262千円</td> <td>1,274千円</td> <td>1,700千円</td> <td>701千円</td> </tr> </table> <p>&lt;人工授精に対する助成&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>18人</td> <td>20人</td> <td>28人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>20件</td> <td>22件</td> <td>34件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>487千円</td> <td>550千円</td> <td>731千円</td> <td>263千円</td> </tr> </table> <p>&lt;不育症に対する助成&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>件</td> <td>1件</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>0千円</td> <td>9千円</td> <td>0千円</td> </tr> </table> <p>*人工授精及び不育症の数字は、不妊治療費助成金交付実績の内数。  *男性不妊治療に対する申請はなし。</p>							H23	H24	H25	H26	H27	H28	実人数	30人	32人	37人	34人	49人	17人	件数	35件	40件	43件	37件	63件	24件	助成金額	1,018千円	1,179千円	1,262千円	1,274千円	1,700千円	701千円		H25	H26	H27	H28	実人数	18人	20人	28人	11人	件数	20件	22件	34件	14件	助成金額	487千円	550千円	731千円	263千円		H26	H27	H28	実人数	0人	1人	0人	件数	件	1件	件	助成金額	0千円	9千円	0千円
	H23	H24	H25	H26	H27	H28																																																																
実人数	30人	32人	37人	34人	49人	17人																																																																
件数	35件	40件	43件	37件	63件	24件																																																																
助成金額	1,018千円	1,179千円	1,262千円	1,274千円	1,700千円	701千円																																																																
	H25	H26	H27	H28																																																																		
実人数	18人	20人	28人	11人																																																																		
件数	20件	22件	34件	14件																																																																		
助成金額	487千円	550千円	731千円	263千円																																																																		
	H26	H27	H28																																																																			
実人数	0人	1人	0人																																																																			
件数	件	1件	件																																																																			
助成金額	0千円	9千円	0千円																																																																			
主な財源	府補 不妊治療等給付事業助成費補助金			350千円																																																																		
成果・課題	<p>○不妊・不育治療を受ける夫婦に対し、治療にかかる費用負担を軽減することができた。</p> <p>○今後も制度の広報について工夫し、積極的な周知を行う必要がある。</p>																																																																					
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課																																																																					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業
細事業名	01 母子健康支援事業			決算書 P.180
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり		
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
857千円	932千円	75千円	91.9%	932千円
目的	妊娠期から出産、育児期を通じ、各種教室及びむし歯予防事業を実施し、子育て支援を行うことにより、子どもの健やかな成長・発達を促す。			
主要な事務・事業の概要	○むし歯予防事業 392千円 子どもの健康な歯と口腔を保つため、歯科医師による講演会、歯科衛生士等による歯科指導、フッ化物洗口事業を実施した。 ・むし歯予防教室（市内保育所・幼稚園：21回） ・歯科講演会（2回） ・フッ化物洗口事業（市内保育所・幼稚園：17施設、小学校：3施設） ・歯科保健推進会議（1回） 歯科医師謝金（講演会・学習会・会議） 88千円 歯科衛生士謝金（むし歯予防教室） 126千円 消耗品費、医薬材料費（洗口用薬剤） 178千円			
	○母子等健康支援教室開催事業 465千円 妊娠、出産、子育て中の不安を軽減し、子どもの健やかな成長・発達を促すため、正しい知識の普及を始め、参加者同士の交流や子育て相談等を実施した。 ・臨床心理士による発達相談（6回：10人） ・赤ちゃんサロン（24回：134人） ・両親学級（12回：62組：129人） ・離乳食教室（対象者：4～6か月児／12回：132人） ・離乳食キッチン（対象者：10～11か月児／8回：25人） 臨床心理士謝金 118千円 臨時保育士・歯科衛生士賃金 77千円 消耗品費 217千円 通信運搬費・計量器検定手数料 53千円			
主な財源	府補	フッ素による子どものむし歯予防事業費補助金	152千円	
成果・課題	1歳6か月児、3歳児のう歯保有率は年々減少しており、子どもたちが健やかに成長できる健康づくりに寄与した。			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業
細事業名	02 妊婦健康支援事業			決算書 P.180
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり		
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
28,445千円	28,716千円	271千円	99.0%	30,233千円
目的	妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査を実施することにより、妊婦の健康づくりを支援し、疾病の早期発見、早期治療を促す。			
主要な事務・事業の概要	○妊婦健康診査 28,282千円 安心・安全に出産を迎えるため、妊婦健康診査費用の助成を行った。 ※妊婦健康診査受診券交付者数：374人  ・妊婦健康診査委託料 27,320千円 ・妊婦健康診査助成金（里帰り受診） 718千円 ・印刷製本費（受診券綴り） 104千円 ・消耗品費（母子健康手帳購入） 140千円			
	○妊婦歯科健康診査事業 163千円 妊婦の口腔衛生の向上を図るために、1回の妊娠につき1回の歯科健康診査受診費用の一部助成を行った。 ※妊婦歯科健康診査受診者数：66人  ・妊婦歯科健康診査委託料 158千円 ・妊婦歯科健康診査助成金（里帰り受診） 5千円			
主な財源				
成果・課題	○妊婦健康診査については、妊娠期に必要な定期検診を受診する機会となっており、妊婦が安心して妊娠、出産に臨むために有効な事業となっている。 ○妊婦歯科健診については、受診券の利用率が低いことから、引き続き、母子健康手帳交付時に歯科健診の重要性について啓発していく必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業																																						
細事業名	03 乳幼児健康診査事業			決算書	P.180																																					
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり																																								
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進																																								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																						
10,809千円	10,919千円	110千円	98.9%	11,461千円																																						
目的	乳幼児期の疾病や障害の早期発見、治療、療育を促し、健やかな成長を支援するとともに、保護者に対する育児支援を行うことで育児不安の解消と虐待防止を図る。																																									
主要な事務・事業の概要	<p>乳幼児の発達の節目である、4か月、10か月、1歳8か月、2歳6か月、3歳の時期に、健康診査、歯科健康診査及び保健指導を実施し、虐待予防を含めた乳幼児の健やかな成長・発達を促す支援を行った。</p> <p>&lt;乳幼児健康診査実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>対象者数</th> <th>実施回数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> <th>前年度受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4か月児</td> <td>367人</td> <td>24回</td> <td>362人</td> <td>98.6%</td> <td>98.6%</td> </tr> <tr> <td>10か月児</td> <td>387人</td> <td>26回</td> <td>378人</td> <td>97.7%</td> <td>97.9%</td> </tr> <tr> <td>1歳8か月児</td> <td>364人</td> <td>28回</td> <td>357人</td> <td>98.1%</td> <td>96.1%</td> </tr> <tr> <td>2歳6か月児</td> <td>406人</td> <td>29回</td> <td>401人</td> <td>98.8%</td> <td>98.7%</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>388人</td> <td>27回</td> <td>382人</td> <td>98.5%</td> <td>96.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨時保健師、歯科衛生士賃金 1,921千円  ○消耗品費、医薬材料費 556千円  ○案内郵送料 173千円  ○小児科医師、歯科医師派遣委託料 8,110千円  ○備品購入費（歯科健診用ヘッドライト） 49千円</p>						対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	前年度受診率	4か月児	367人	24回	362人	98.6%	98.6%	10か月児	387人	26回	378人	97.7%	97.9%	1歳8か月児	364人	28回	357人	98.1%	96.1%	2歳6か月児	406人	29回	401人	98.8%	98.7%	3歳児	388人	27回	382人	98.5%	96.8%
	対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	前年度受診率																																				
4か月児	367人	24回	362人	98.6%	98.6%																																					
10か月児	387人	26回	378人	97.7%	97.9%																																					
1歳8か月児	364人	28回	357人	98.1%	96.1%																																					
2歳6か月児	406人	29回	401人	98.8%	98.7%																																					
3歳児	388人	27回	382人	98.5%	96.8%																																					
主な財源	府補 繰入金	フッ素による子どものむし歯予防事業費補助金 ふるさと応援基金繰入金	639千円 100千円																																							
成果・課題	○乳幼児の発達の節目で疾病や障害の早期発見を行い、早期支援へとつなぐことができた。保護者の育児不安に対しては、医師等の専門職からの適切な助言により、育児不安が軽減するよう努めた。 ○健診未受診者については、他機関との連携により健康状態の確認、虐待予防、孤立化予防、育児支援に努めることができた。																																									
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課																																									

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業																					
細事業名	04 子育て世代包括支援センター事業			決算書	P.180																				
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進																							
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進																							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																					
1,913千円	1,984千円	71千円	96.4%	4,707千円																					
目的	子育て世代包括支援センターを設置し、ワンストップの相談窓口、専門的相談の充実などにより、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行う。																								
主要な事務・事業の概要	<p>【子育て世代包括支援センターの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設：平成28年4月</li> <li>・体制：専任保健師1人を配置</li> <li>・主な取組： <ol style="list-style-type: none"> <li>① 妊娠期からのワンストップの相談窓口対応</li> <li>② 助産師による専門的な相談や教室の実施</li> <li>③ 子育てネットワークの構築に向けての取組</li> </ol> </li> <li>・相談件数実績：延べ594人</li> </ul> <p>○開設準備経費 1,434千円  峰山総合福祉センター東館（健幸館）1階に専用相談室を設置。  ・警報機器一時撤去及び再設置料 43千円  ・工事設計委託料 367千円  ・看板設置 16千円  ・センター整備工事 1,008千円</p> <p>○運営事業費 479千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">内容</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">マタニティクラス</td> <td>11回</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">タッチケア</td> <td>11回</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">相談</td> <td>なかよし広場</td> <td>11回</td> <td>314人</td> </tr> <tr> <td>子育て支援センター</td> <td>8回</td> <td>81人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時助産師賃金 86千円</li> <li>・助産師謝金 214千円</li> <li>・消耗品費 126千円</li> <li>・印刷製本費 38千円</li> <li>・役務費（寝具等クリーニング代） 7千円</li> <li>・旅費（産前産後訪問支援員養成講座） 8千円</li> </ul>						内容		実施回数	参加人数	マタニティクラス		11回	29人	タッチケア		11回	161人	相談	なかよし広場	11回	314人	子育て支援センター	8回	81人
	内容		実施回数	参加人数																					
マタニティクラス		11回	29人																						
タッチケア		11回	161人																						
相談	なかよし広場	11回	314人																						
	子育て支援センター	8回	81人																						
主な財源	国補 府補	子ども・子育て支援交付金 子ども・子育て支援交付金	638千円 638千円																						
成果・課題	○妊娠届、母子健康手帳交付窓口をセンターに一本化し、保健師が面接して交付することにより、個々の課題やニーズの把握、妊娠期からの継続支援が可能となった。 ○妊娠期から子育て期を通して、助産師による専門相談を実施する機会が増え、相談支援が充実した。 ○ネットワークによる関係機関・団体等との連携を強化し、子育て環境の向上、子育て支援事業の充実を図る必要がある。																								
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課																								

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	03発達障害児等早期発見・早期療育支援事業
細事業名	01 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業			決算書 P.180
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり		
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
476千円	515千円	39千円	92.4%	515千円
目的	発達障害等により集団生活に課題を抱える幼児の早期療育の観点から、子どもと保護者が安心して就学を迎えられるよう、関係機関が連携し、支援体制を構築する。			
主要な事務・事業の概要	<p>市内保育所・幼稚園に通う4歳児クラス児童の保護者を対象に、事業説明及び幼児期後半の子どもの発達と対応について説明会を実施した。問診票を配布し100%の回収率を得られた。</p> <p>一次スクリーニングと行動観察の結果、要支援判定児については、事後支援として発達相談等の専門相談、保健師による個別面談、医療機関・療育教室における対応、ほめ方教室、保育所・幼稚園での対応等を行った。</p>			
	<p>○発達障害児等早期発見・早期療育支援相談員報酬 403千円</p> <p>○旅費（発達支援相談員費用弁償） 44千円</p> <p>○需用費（問診票・パンフレット用色上質紙ほか） 29千円</p> <p>・問診票からのスクリーニング：市内保育所幼稚園に通う4歳児388人実施</p> <p>・園巡回による児の行動観察及びカンファレンス：延30回、延109人実施</p> <p>&lt;判定結果&gt; 問題なし 189人（48.7%） 園支援 70人（18.0%） 要支援 97人（25.0%） 管理中 32人（8.3%）</p> <p>&lt;要支援判定児の事後支援結果&gt; 発達相談等専門相談 54人 保健師面接・電話相談 88人 医療機関における対応 8人 療育教室での対応 6人 ほめ方教室での対応 4人 保育所・幼稚園のみでの対応 5人</p>			
主な財源	府補	発達障害児等早期療育支援事業費補助金（1/2）		163千円
成果・課題	<p>○支援の必要な児について、保護者、保育者、専門機関と連携し、早期支援・療育に結び付けることができた。</p> <p>○切れ目のない支援が就学後も継続していけるように、今後も関係者、関係機関が連携を図り、保育所・幼稚園におけるよりよい支援の在り方、支援体制の構築に努めていく必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	04未熟児療育医療事業															
細事業名	01 未熟児療育医療事業			決算書 P.180															
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進																	
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進																	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額															
4,225千円	4,241千円	16千円	99.6%	2,529千円															
目的	身体の発育が未熟なまま生まれた、入院が必要な新生児の医療費を公費で負担し、健やかな成長を支援する。																		
主要な事務・事業の概要	○未熟児養育医療給付費 4,140千円																		
	<p>対象者：出生時に体重が2,000g以下の乳児で、生活力が特に薄弱で一定の症状に該当する場合</p> <p>給付額：指定医療機関で入院治療に係る一部負担金（食事療養費を含む）</p> <p>給付方式：養育医療券（指定医療機関あり）交付による現物給付</p> <p>&lt;平成28年度&gt;</p> <table border="0"> <tr> <td>申請人数</td> <td>14人</td> <td>（現物給付額）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>診療を要した月</td> <td>37月</td> <td>医療費</td> <td>3,595千円</td> </tr> <tr> <td>診療を要した日数</td> <td>889日</td> <td>食事負担額</td> <td>545千円</td> </tr> <tr> <td>食事回数</td> <td>1,641回</td> <td>合計</td> <td>4,140千円</td> </tr> </table> <p>○審査支払手数料 2千円 ※審査支払手数料は請求の段階で府と折半した額が請求される。</p> <p>○その他事務経費 6千円</p> <p>○平成27年度分（過年度国庫支出金返還金） 77千円</p>				申請人数	14人	（現物給付額）		診療を要した月	37月	医療費	3,595千円	診療を要した日数	889日	食事負担額	545千円	食事回数	1,641回	合計
申請人数	14人	（現物給付額）																	
診療を要した月	37月	医療費	3,595千円																
診療を要した日数	889日	食事負担額	545千円																
食事回数	1,641回	合計	4,140千円																
主な財源	負担金	未熟児養育医療費負担金（保護者・子ども医療）		1,136千円															
	国負	未熟児養育医療費負担金（1/2）		1,767千円															
	府負	未熟児養育医療費負担金（1/4）		752千円															
成果・課題	未熟児の養育に必要な医療の給付を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減が図られた。																		
事業所管課	健康長寿福祉部／保険事業課																		

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04健康増進費	01健康相談・指導事業			
細事業名	01 健康相談・指導事業			決算書	P.182		
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり					
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額			
1,994千円	2,294千円	300千円	86.9%	2,294千円			
目的	生活習慣病を始めとした疾病予防・介護予防などを目的に生活習慣を振り返り、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。						
主要な事務・事業の概要	市民の健康増進や疾病予防を目的に健康相談・保健指導・栄養指導事業を実施した。						
	○資金(臨時保健師・栄養士)	703千円					
○需用費(消耗品費・印刷製本費)	611千円						
○役務費(通信運搬費)	675千円						
○使用料(会場借上料)	5千円						
【健康相談】	個別に具体的な生活改善指導を実施。						
	・結果報告会(平成28年7月26日～11月4日:34日間) 延べ55会場で3,438人に個別指導を実施						
	・健康相談、栄養相談:延べ165人に実施						
	・生活習慣病重症化予防対策事業による支援:82人に実施						
【集団健康教育】	生活習慣病予防・心の健康・介護予防などの集団健康教育による普及啓発を実施。						
	・出前講座(76回):延べ1,325人						
	・健康づくり講演会(実施日:10月23日(日)、参加者:174人) 演題:おなかの調(腸)子が健康のもと 講師:京都府立医科大学 吉川 敏一先生						
主な財源	府補	健康増進事業費等補助金(2/3)			606千円		
成果・課題	○結果報告会にて個別指導を実施し、生活習慣改善への意識付けを行うことができた。 ○結果報告会に来所されず、個別指導を実施していない方がいることから、効果的な指導方法や指導体制について検討する必要がある。						
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課						

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04健康増進費	02総合検診事業			
細事業名	01 総合検診事業			決算書	P.182		
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり					
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額			
107,033千円	107,131千円	98千円	99.9%	106,277千円			
目的	がんや疾病の早期発見を行うとともに、生活習慣病予防の意識を高め、生活習慣の改善につなげる。						
主要な事務・事業の概要	健康診査と各種がん検診などを同時に受けることができる総合検診を地域の集会所等で実施した。						
	【実施期間】	平成28年5月18日～9月7日					
【実施日数】	48日間						
【実施会場】	28会場(保健センター、集会所など)						
	検診内容	対象者	受診者数	受診率	前年度比較		
	健康診査	20～39歳	878人		△13人		
		75歳以上	1,730人		96人		
		生活保護ほか	67人		46人		
	肺がん	40歳以上	8,066人	46.1%	34人		
	胃がん	40歳以上	4,214人	24.1%	△96人		
	大腸がん	40歳以上	8,010人	45.8%	129人		
	肝炎ウイルス	40歳以上	635人		24人		
	前立腺がん	55歳以上	2,314人		△80人		
	腹部超音波	60・65・70歳	728人		69人		
	子宮がん(集団)	20歳以上	2,767人	46.7%	△76人		
	子宮がん(個別)	クーポン対象者	18人				
	乳がん	40歳以上	2,994人	51.7%	200人		
	○検診業務委託料				104,428千円		
	○臨時職員賃金				19千円		
	○需用費(印刷製本、消耗品等)				669千円		
	○役務費(通信運搬費)				1,886千円		
	○会場使用料				31千円		
主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金(1/2)			248千円		
	国補	健康増進事業費等補助金(基本額2/3)			1,982千円		
	諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金(基本額2/3)			4,306千円		
	諸収入	後期高齢者医療制度特別対策補助金(基本額2/3)			105千円		
	繰入金	再編交付金事業基金繰入金			20,000千円		
成果・課題	○前年度と比較し、がん検診の受診率が上がった。 ○未受診者対策として、申込書を活用し受診しない理由を問うアンケート調査を実施したが、回収率が低く有効な分析には至らなかった。今後は、国が示す未受診者対策において、個別勧奨の実施が勧められていることから、有効な受診勧奨について検討していく必要がある。						
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課						



予算科目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01予防接種事業
細事業名	01 予防接種事業			決算書 P.182
総合計画	計画項目	8 生涯にわたる体とこころの健康づくり		
	(旧計画項目)	10 大長寿を享受できる健康づくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
82,873千円	83,106千円	233千円	99.7%	94,096千円
目的	伝染のおそれがある疾病の発生及び感染予防、発病防止、症状の軽減、病気のまん延防止を図る。			
主要な事務・事業の概要	予防接種法に基づき、子どもの定期予防接種及び風しん予防接種費用への助成を実施した。 【予防接種の種類・接種者数等】			
	区分	対象延べ人数	接種延べ人数	接種率
	BCG	434人	406人	93.6%
	ポリオ(不活化ワクチン)	171人	35人	20.5%
	二種混合	515人	401人	77.9%
	四種混合	2,085人	1,516人	72.7%
	麻しん風しん(1期)	452人	362人	80.1%
	麻しん風しん(2期)	372人	353人	94.9%
	水痘	1,929人	722人	37.5%
	日本脳炎	3,593人	1,551人	43.2%
ヒブ	1,865人	1,502人	80.6%	
小児用肺炎球菌	1,886人	1,503人	79.7%	
風しん		38人		
B型肝炎	795人	585人	73.6%	
子宮頸がん	※ 3,058人	0人	0.0%	
※ 子宮頸がん予防接種は、平成25年6月14日から積極的勧奨を差し控えている。 ○事務経費(消耗品・役務費等) 481千円 ○予防接種システム改修負担金(B型肝炎予防接種の追加対応) 13千円 ○個別予防接種委託料 81,754千円 ○予防接種助成金等給付費 625千円 (うち、風しん予防接種助成金 176千円)				
主な財源	府補	風しん予防接種助成事業補助金	88千円	
成果・課題	予防接種法に基づく予防接種であり、適正な接種と接種率の向上のために情報提供、接種体制の充実に努める必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業
細事業名	01 地域医療体制整備補助金			決算書 P.182
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実		
	(旧計画項目)	11 地域包括医療・ケア体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
3,530千円	3,610千円	80千円	97.7%	3,785千円
目的	民間病院が行った施設整備に対し支援を行うことにより、市民が安心して生活できる地域医療環境を確保する。			
主要な事務・事業の概要	地域医療を支える病院について、施設整備に係る借入金利子を補助対象として、補助金を交付した。			
	交付先医療機関及び交付額			
	法人・医療機関名	所在地	交付額	
特定医療法人三青園	丹後ふるさと病院	網野町小浜	3,530千円	
主な財源	府補	未来づくり交付金(地域医療体制整備補助金)	1,500千円	
成果・課題	○地方の医療機関を取り巻く環境は、依然厳しいながらも、民間医療機関を支援することで、地域の医療環境の確保に寄与している。 ○引き続き支援するとともに、丹後医療圏における医療体制確保のため、地域連携や国府等への要望等に努める必要がある。			
事業所管課	医療部/医療政策課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業		
細事業名	02 公的病院等運営事業補助金			決算書	P.182	
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実				
	(旧計画項目)	11 地域包括医療・ケア体制の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
60,052千円	60,052千円	0千円	100.0%	60,052千円		
目的	地域において必要とされる不採算医療等の機能を担う公的病院等について、その機能を発揮する上で必要な経費の一部を補助する。					
主要な事務・事業の概要	公的病院等が、救急医療を実施する上で必要となる医師・看護師等職員の当直及び待機に係る費用を対象経費として補助金を交付した。					
	交付先医療機関及び交付額					
	法人・医療機関名		所在地	交付額		
公益財団法人 丹後中央病院		峰山町杉谷	60,052千円			
※対象経費：83,309千円						
主な財源						
成果・課題	<p>○市内救急医療体制は、民間1病院と市立2病院で行っている。救急医療を市立2病院のみで行うことは、地理、経費面、施設設備面及び人員面などから難しい状況であり、補助対象医療機関に貢献いただくことにより、救急医療体制を維持することができた。</p> <p>○引き続き支援を行い、救急医療体制を維持していく必要がある。</p>					
事業所管課	医療部/医療政策課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業		
細事業名	03 休日応急診療事業			決算書	P.182	
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実				
	(旧計画項目)	11 地域包括医療・ケア体制の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
3,777千円	3,777千円	0千円	100.0%	3,777千円		
目的	休日における急病者の診療業務について、医療機関に委託して実施することにより、市民が安心して生活できる診療体制を確保する。					
主要な事務・事業の概要	休日や年末年始における急病者の診療業務について、市内の医療機関に委託し実施した。					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施医療機関 丹後ふるさと病院、上田医院、中江医院、弥栄病院、久美浜病院</li> <li>実施日数 71日(日曜、祝日、年末年始)</li> <li>診療時間 午前9時から正午、午後2時から午後5時</li> <li>延患者数 1,034人</li> </ul>					
	業務内容		委託額			
休日応急診療業務委託料		3,777千円				
主な財源						
成果・課題	<p>○休日・年末年始において、応急的な診療を受けられる医療機関を確保することで、救急診療体制を維持することができた。</p> <p>○休日診療所を開設している他の自治体もあるが、本市では、開設に係る費用をはじめ、医師・看護師等の医療スタッフの確保が非常に難しい状況である。したがって、業務委託で実施することが費用対効果の面でも有効であると考えているが、実施協力医療機関の確保が難しくなってきている。</p>					
事業所管課	医療部/医療政策課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	02市立診療所繰出金					
細事業名	01 市立診療所繰出金			決算書	P.184				
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実							
	(旧計画項目)	11 地域包括医療・ケア体制の充実							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額					
56,502千円	56,502千円	0千円	100.0%	56,502千円					
目的	誰もが安心して医療を受けられる地域医療の維持・充実を図るため、市内に設置している診療所の運営に必要な経費の一部を繰り出す。								
主要な事務・事業の概要	国民健康保険直営診療所事業特別会計の適正な運営のため、診療所運営経費及び市債の元利償還金の一部を繰り出した。 ○繰出額 56,502千円 <繰出金の内訳> (単位：千円)								
		大宮診療所	五十河診療所	間人診療所	野間診療所	佐濃診療所	宇川診療所	合計	備考
	市債元利償還金	183		2,786		45	57	3,071	
	賃金	5,456	973			173		6,602	事務員、看護師
	児童手当	240						240	
	給料	2,320		27,439				29,759	
	医療事務委託料			6,717	560			7,277	
	清掃業務委託料					42		42	
	医師派遣費		2,615		2,750	2,350		7,715	市立病院から
	建設改良費			395			20	415	
高度医療機器保守			972				972	CT	
建物保険料						19	19		
土地借上料						59	59		
駐車場使用料						331	331		
合計	8,199	3,588	38,309	3,310	2,610	486	56,502		
主な財源									
成果・課題									
事業所管課	医療部/医療政策課								

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	03市立病院繰出金				
細事業名	01 市立病院繰出金			決算書	P.184			
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実						
	(旧計画項目)	11 地域包括医療・ケア体制の充実						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額				
914,422千円	914,422千円	0千円	100.0%	903,855千円				
目的	市立病院の運営を維持するため、必要な経費の一部を一般会計から病院事業会計に繰り出す。							
主要な事務・事業の概要	地方公営企業法第17条の2の規定による経費の負担の原則、「地方公営企業繰出金について」等に基づき算定した繰出基準額を基本とした病院事業会計への繰出金。 繰出額 弥栄病院 456,013千円 久美浜病院 458,409千円 合計 914,422千円 <繰出金の内訳> (単位：千円)							
		弥栄病院	久美浜病院	合計	備考			
	救急医療の確保	174,820	145,270	320,090				
	保健衛生行政	25,546	32,252	57,798				
	研究研修費	4,819	6,318	11,137				
	保健・医療・福祉の共同研修等	18,000	0	18,000				
	医師確保対策	10,338	0	10,338				
	共済追加費用	7,463	7,125	14,588				
	基礎年金拠出金	41,204	32,706	73,910				
	児童手当	10,194	8,355	18,549				
院内保育所の運営	4,073	3,557	7,630					
新公立病院改革プラン	161	206	367					
建設改良(利息)	11,661	29,730	41,391	病院事業債・過疎債				
リハビリテーション医療	13,125	11,623	24,748					
高度医療	5,126	26,935	32,061					
へき地医療確保	288	9,847	10,135					
建設改良(企業債償還元金)	121,995	137,285	259,280	病院事業債・過疎債				
看護師等修学資金貸付金	7,200	7,200	14,400					
合計	456,013	458,409	914,422					
主な財源								
成果・課題								
事業所管課	医療部/医療政策課							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	04医療確保奨学金等貸与事業		
細事業名	01 医療確保奨学金貸与事業			決算書	P.184	
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実				
	(旧計画項目)	11 地域包括医療・ケア体制の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
12,600千円	12,600千円	0千円	100.0%	12,600千円		
目的	市立病院等の医療機関における医師の業務に従事する意思を有する者に対し、奨学金を貸与することにより市の医療体制の充実に必要な医師の養成及び確保を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>将来、市立病院等の市内医療機関に医師として勤務する意思を有する医学生及び研修医に対し、奨学金を貸与した。</p> <p>○医療確保奨学金貸与事業 12,600千円 貸与者：5人 貸与期間：平成28年4月～平成29年3月 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般医師志望者(小児科、産婦人科以外) 月額200千円×12月×4人=9,600千円</li> <li>・小児科、産婦人科医師志望者 月額250千円×12月×1人=3,000千円</li> </ul>					
主な財源						
成果・課題	<p>○貸与者のうちこれまでに4人が市立病院で勤務し、医師体制の充実成果があがってきている。</p> <p>○課題として制度利用者の拡大に向け、広報を強化するとともに、制度利用者が市立病院等の市内医療機関で勤務しやすい体制を整える必要がある。</p>					
事業所管課	医療部/医療政策課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	50医療対策一般経費		
細事業名	01 医療対策一般経費			決算書	P.184	
総合計画	計画項目	9 地域包括医療・ケア体制の充実				
	(旧計画項目)	11 地域包括医療・ケア体制の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
738千円	752千円	14千円	98.1%	685千円		
目的	地域医療の充実と市立病院及び国民健康保険直営診療所の運営、調整のための一般経費					
主要な事務・事業の概要	<p>地域医療の充実と市立病院及び国民健康保険直営診療所の医療体制の拡充、経営改善等のために必要な業務を行い、所要の経費を支出した。</p> <p>○市立病院経営改善専門委員設置経費 108千円 (年間勤務17日、委員1人) ・報酬(9,000円/日、6,000円/半日)</p> <p>○その他の経費 630千円 医療確保を目的として、京都府立医科大学等の大学関係者や医療関係者を訪問するための職員の出張経費等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員出張のための普通旅費 469千円</li> <li>・消耗品費(書籍、事務用品等)、燃料費 54千円</li> <li>・有料道路通行料、駐車場使用料 107千円</li> </ul>					
主な財源						
成果・課題	<p>○市立病院経営改善専門委員からは、経営に対する助言や薬剤調達に関するコスト削減などの指導を受け、経営改善の一助となった。</p> <p>○引き続き医師の招へいに向けた情報収集や要望活動を展開し、さらなる医療提供体制の充実に努める必要がある。</p>					
事業所管課	医療部/医療政策課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	01防疫対策事業
細事業名	01 防疫対策事業			決算書 P.184
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次代への継承		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
163千円	191千円	28千円	85.3%	191千円

目的 京丹後市地域防災計画の災害応急対策計画に基づく防疫対策を実施するほか、害虫駆除用資材を調達するなどし、安全で快適な市民の生活を確保する。

主要な事務・事業の概要

害虫（蜂）駆除用の資材整備として、防護服のクリーニング、順次更新を行うとともに機器修繕等を行い、次年度の使用に備えた。

- 需用費 37千円
  - ・消耗品費 23千円  
(災害時用の消毒液、レインスーツ、蜂用防護手袋・ビニール手袋)
  - ・修繕料（消毒用煙霧器の修理） 14千円
- 役務費 8千円
  - ・手数料（蜂防護服クリーニング代）
- 備品購入費 118千円
  - ・備品購入費（蜂防護服1着）※丹後市民局配置

蜂防護服貸出実績（平成28年度）

峰山市民局	45回
大宮市民局	24回
網野市民局	28回
丹後市民局	21回
弥栄市民局	11回
久美浜市民局	27回

主な財源

成果・課題

○各市民局に蜂の防護服を配置し市民への貸出しを行うことにより、市民の蜂駆除作業時の安全を確保することができた。  
○防護服の摩耗や経年劣化が進んでいるものもあり、今後も順次更新していく必要がある。

事業所管課 市民環境部／市民環境課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	02浄化槽設置整備事業
細事業名	01 浄化槽設置整備事業			決算書 P.184
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備		
	(旧計画項目)	18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
3,526千円	3,575千円	49千円	98.6%	4,430千円

目的 浄化槽設置整備事業の対象区域において、浄化槽を設置する者に対して補助金を交付し、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。

主要な事務・事業の概要

○浄化槽設置整備事業費補助金 3,435千円

人槽	設置数	1基あたり補助額	補助総額
5人槽	6基	352千円	2,112千円
7人槽	3基	441千円	1,323千円
10人槽	0基	588千円	0千円
計	9基		3,435千円

○京都府浄化槽推進協議会会費及び負担金 91千円

主な財源

国補	循環型社会形成推進交付金（1/3）	361千円
府補	浄化槽設置整備事業費補助金（1/3）	1,145千円

成果・課題

○浄化槽設置整備事業の対象区域において、浄化槽設置者に補助金を交付することにより、浄化槽の設置費用の負担軽減が図られ、水洗化を促進することができた。  
○同区域において、浄化槽による水洗化を更に促進することにより、公共用水域の水質保全と生活環境の一層の改善を図る必要がある。

事業所管課 上下水道部／下水道整備課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03自然環境保全対策事業		
細事業名	01 自然環境保全活動事業			決算書	P.184	
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承				
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次世代への継承				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
1,103千円	1,251千円	148千円	88.1%	1,160千円		
目的	市民が豊かな自然環境に触れる機会を提供するとともに、自然環境の保全と社会的活用を通じた共生を図り、美しいふるさとづくりに向けた取り組みを推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○美しいふるさとづくり審議会 148千円          内容：京丹後市美しいふるさとづくり条例全部改正          開催：第1回 平成28年11月14日 9人          第2回 平成28年11月28日 9人          第3回 平成29年3月7日 8人</p> <p>・委員報酬 60千円          ・費用弁償 88千円</p> <p>○自然観察会、子供体験活動の実施 23千円          紅葉のブナ林観察会(平成28年11月6日、一般対象、参加：17人)          水生生物調査(平成28年7月28日・8月3日、小学生対象、参加：57人)          ・講師謝金(3人) 21千円          ・消耗品費(チラシ用紙) 2千円</p> <p>○丹後の豊かな環境づくり推進会議 150千円          ・バス運転委託料(児童送迎) 36千円          ・丹後の豊かな環境づくり推進会議負担金 114千円</p> <p>○補助金 782千円          ・環境保護団体活動費補助金(補助率2/3 1団体) 93千円          ・はだしのコンサート開催事業補助金(補助率2/3 1団体) 689千円</p>					
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金				600千円
成果・課題	<p>○美しいふるさとづくり条例を改正し、環境共生のまちづくりを進める礎ができた。</p> <p>○ブナ林観察会など、自然環境に子どもから大人まで幅広い年代の市民が触れ合える機会を提供することができた。</p> <p>○京都府や教育委員会と連携し自然体験活動を開催したことにより、環境保全意識の啓発をより効果的に実施することができた。</p> <p>○効果的な自然環境保全のため、保護と活用を両立した環境共生を推進する必要がある。</p>					
事業所管課	市民環境部/市民環境課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03自然環境保全対策事業		
細事業名	02 不法投棄対策事業			決算書	P.184	
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承				
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次世代への継承				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
215千円	315千円	100千円	68.2%	315千円		
目的	不法投棄防止対策として、不法投棄抑止看板設置等による啓発を行うとともに、行為者の特定及び投棄物の撤去・回収を実施し、環境の保全を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>各地区と協力して看板設置を行うとともに、不法投棄物の撤去・回収、不法投棄箇所の清掃を行い、今後の不法投棄発生の抑制に努めた。          (回収件数 21件 うち家電6品目の不法投棄 10件)</p> <p>○需用費 122千円          ・消耗品費          (不法投棄防止看板20枚、丸カゴ 14mm×5kg、耐水インク3着)</p> <p>○役務費 93千円          ・手数料(タイヤ 178本処分費)</p>					
主な財源						
成果・課題	<p>○地区との協働により、啓発看板の設置及び不法投棄物の撤去を行うことで、地域ぐるみでの不法投棄防止対策ができ、地域の環境保全に努めることができた。</p> <p>○継続的に「排出者責任」及び「不法投棄の違法性」について周知を図り、不法投棄の発生防止に努めるとともに、効果的な不法投棄防止策について検討を続ける必要がある。</p>					
事業所管課	市民環境部/市民環境課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03自然環境保全対策事業
細事業名	03 地球温暖化防止対策推進事業			決算書 P.184
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次代への継承		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,272千円	2,274千円	2千円	99.9%	0千円
目的	民生・需要分野における地球温暖化対策として、市民一人ひとりの賢い選択（クールチョイス）を促し、低炭素で環境に負荷を与えない暮らしづくりを推進する。			
主要な事業・事業の概要	市環境基本計画に基づき、環境省が進める平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業（国民運動「クールチョイス」）を活用して、地域の自然環境保全及び温室効果ガスの排出抑制に貢献する事業を実施した。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○普及・啓発事業（クールチョイスの啓蒙） 416千円 【地球温暖化対策講演会の実施、啓発資材等の作成】※講演会参加者数：68人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師謝金、費用弁償（講演会講師） 83千円</li> <li>・印刷製本費（講演会チラシ） 59千円</li> <li>・新聞折込手数料（講演会チラシ） 63千円</li> <li>・業務委託料（啓発リーフレット、ロゴマーク、折込等） 211千円</li> </ul> </li> <li>○地域人材育成事業（育成セミナーの実施、終了登録） 1,153千円 【クールチョイス推進リーダー養成講座】※5回のセミナー実施/登録者数：5人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（参加者資料代） 23千円</li> <li>・印刷製本費（公募用チラシ） 74千円</li> <li>・新聞折込手数料（公募用チラシ折込） 63千円</li> <li>・セミナー実施業務委託料（テキスト作成、企画・運営） 993千円</li> </ul> </li> <li>○クールチョイス実践事業所認定事業（登録、広報支援） 333千円 【クールチョイス実践優良事業所登録制度】※認定事業所数：3件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（貸与のぼり旗、ポスターパネル） 148千円</li> <li>・印刷製本費（公募用チラシ） 115千円</li> <li>・新聞折込手数料（公募用チラシ折込） 70千円</li> </ul> </li> <li>○省エネ啓発モデル事業（給湯省エネ設備の参加型体験、普及啓発） 370千円 【クールチョイス給湯省エネ啓発業務】 ※市内公共温泉施設3か所で2週間に亘り実施。来場者の延べ人数：8,926人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ啓発モデル事業実施業務委託料 370千円</li> </ul> </li> </ul>			
主な財源	国補 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（10/10）			2,272千円
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境基本計画で未着手となっていた市の取組（ごみ減量優良協力店認定、環境保全リーダー認定）を進めることができた。</li> <li>○地球温暖化がもたらすリスク及びその対応策（緩和策と適応策）の必要性について、市民が認識するための機会や情報を提供することができた。</li> <li>○行政・市民・事業者・市民団体・旅行者等全ての人の協働と参画により、地域の環境・経済・社会が持続的発展をとげられるような温暖化施策を推進していく必要がある。</li> </ul>			
事業所管課	市民環境部/市民環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03自然環境保全対策事業
細事業名	04 省エネ・グリーン化推進事業			決算書 P.184
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次代への継承		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,154千円	5,154千円	0千円	100.0%	5,154千円
目的	環境配慮型の低炭素社会実現を目指すため、市が管理する防犯灯及び道路灯のLED化を推進し、維持管理経費削減及び省エネによる地球温暖化防止を図る。			
主要な事業・事業の概要	平成25年度に環境省の「地球温暖化対策推進事業費補助金」を活用し、LED化した市管理分の街路灯（防犯灯・道路灯）のリース料を支払った。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○LED街路灯等賃借料 5,154千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース料：429,450円/月×12か月</li> <li>・リース開始：平成26年3月1日</li> <li>・リース期間：120か月（10年間）</li> <li>・リース対象：1,844基（防犯灯1,697基+道路灯147基）</li> </ul> </li> <li>※LED化による電気料金及び維持管理経費の削減分をその導入財源とするリース方式で、リース期間内における維持管理を含めた包括的サービスの提供を受ける（リース期間終了後は無償譲渡）。</li> </ul>			
主な財源				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広く市民の目に触れる防犯灯及び道路灯を消費電力の少ないLEDへ切り替えたことにより、CO<sub>2</sub>の排出を抑制するとともに、市民・事業者へ向けて、省エネ機器を普及啓発（購入・買替）することができた。</li> <li>○国の温室効果ガスの排出削減目標に従い、整備コストと減出削減とのバランスに配慮しながら、その他の公共施設にも省エネでCO<sub>2</sub>削減効果の高い設備・機器等の導入を促進していく必要がある。</li> </ul>			
事業所管課	市民環境部/市民環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	04狂犬病予防・動物管理事業
細事業名	01 狂犬病予防・動物管理事業			決算書 P.186
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次世代への継承		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
703千円	721千円	18千円	97.5%	721千円
目的	狂犬病予防法に基づく狂犬病予防注射を実施するとともに、ペットの飼い主に対し適正飼育及び動物管理マナーの啓発を行い、動物愛護と公衆衛生向上を図る。			
主要な事務・事業の概要	京都府獣医師会とともに、市内50会場で狂犬病予防接種を実施した。また、年度中に未接種の飼い主については、11月に通知を行った(603頭)。 ペットの放し飼いやフンの放置といった動物管理に対する苦情に対して、京都府と連携して飼い主に個別対応し、啓発を行った。 京都府と連携し、動物ふれあい教室及び動物愛護教室を行い、動物との共生について学習を行った(6月 丹波小学校、島津小学校、10月 網野北小学校)。			
	○旅費	11千円		
	・職員出張旅費			
	○需用費	111千円		
	・消耗品費(愛犬手帳、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票、狂犬病予防接種済票交付申請書3,000枚)	73千円		
	・印刷製本費(狂犬病予防注射案内用封筒2,600枚)	38千円		
	○役務費	201千円		
	・通信運搬費(狂犬病予防注射案内及び再通知郵送料)			
	○委託料	380千円		
	・狂犬病予防注射済票引渡事務委託料			
<犬の登録件数(平成28年度末)>		<狂犬病予防注射接種率>		
犬の登録数	2,423頭	H28年度:	81.7%	
狂犬病予防注射接種件数	1,980頭	H27年度:	77.5%	
内訳	市巡回接種	731頭	H26年度:	78.0%
	獣医委託	1,245頭	H25年度:	77.1%
	その他(市外)	4頭		
主な財源	手数料	犬の登録注射業務手数料	573千円	
	府補	動物管理指導費補助金	130千円	
成果・課題	○狂犬病予防注射未接種犬の飼い主へ接種督促通知を送付することで、接種率の向上と登録原簿の的確な更新と事務の効率化を図ることができた。 ○接種督促通知を早期に送付したことにより、接種率の向上に繋がった。 ○接種率の向上及び動物管理マナーの一層の向上を図るためには、狂犬病予防注射の必要性及びペットの適正な飼い方について引き続き周知を行う必要がある。			
事業所管課	市民環境部/市民環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	05堀川浄化施設維持管理事業	
細事業名	01 堀川浄化施設維持管理事業			決算書 P.186	
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承			
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次世代への継承			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,377千円	1,474千円	97千円	93.4%	1,474千円	
目的	堀川浄化施設の維持管理を行い、久美浜町一区内約63世帯の生活雑排水が流入する「堀川(法定外河川)」の河川水を浄化することで、久美浜湾の水質保全を図る。				
主要な事務・事業の概要	堀川浄化施設の維持管理として、施設の保守点検、消毒剤の充填、水路の清掃、水質検査及び汚泥の処分等を行った。				
	○需用費	283千円			
	・光熱水費(堀川浄化施設の電気・水道料金)	241千円			
	・修繕料(調整槽フロート修理代)	42千円			
	○委託料	1,094千円			
	・堀川浄化施設維持管理業務委託料 (施設保守点検、消毒剤充填、水路清掃、水質検査、汚泥処分等)				
	【堀川浄化施設】				
	久美浜町西本町区に位置する堀川河口部から、上流部約180mの範囲における約63世帯の生活雑排水を浄化処理し、久美浜湾へ放流する施設。 (平成6年設置) (200人槽、長期ばっ気式、処理能力:40m <sup>3</sup> /日、用途:雑排水水路)				
	主な財源				
成果・課題	○久美浜湾に直接流入する家庭雑排水を浄化処理し、久美浜湾の環境保全を図ることができた。 ○公共下水への接続の推進と並行して、本施設の適切な維持管理を行っていくことが必要である。				
事業所管課	市民環境部/市民環境課				



予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	06浄化槽整備事業特別会計繰出金
細事業名	01 浄化槽整備事業特別会計繰出金			決算書 P.186
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備		
	(旧計画項目)	18 きれいな水を美しくかえず上下水道の整備		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
98,000千円	98,000千円	0千円	100.0%	98,000千円

目的 総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に浄化槽整備事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。

主要な事務・事業の概要

一般会計から浄化槽整備事業特別会計に対して繰出金を支出した。

[繰出金の主な内容] (単位：千円)

項目	浄化槽	備考
起債元金償還金	0	
起債利子償還金	0	
分流式下水道等経費	5,562	
高資本対策経費	0	
児童手当	216	
小計	5,778	
起債元金償還金	6,973	
施設維持管理費	84,443	浄化槽維持管理基数1,299基
建設改良費	806	浄化槽設置工事ほか
小計	92,222	
合計	98,000	

主な財源

成果・課題

事業所管課 上下水道部/下水道整備課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	07IJI福祉-セクター管理運営事業
細事業名	01 IJI福祉-セクター管理運営事業			決算書 P.186
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
	(旧計画項目)	9 循環型社会の構築		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
8,944千円	8,945千円	1千円	99.9%	8,103千円

目的 有機系未利用資源の再資源化の促進と循環型社会構築のための中核施設「エコエネルギーセンター」の管理運営を行う。

主要な事務・事業の概要

- 修繕料（破袋分別機インバータ取替え） 85千円
- 火災保険料 103千円
- 指定管理委託料 8,000千円
- 工事請負費（原料投入口開閉扉改修工事） 756千円

≪施設運営状況≫

	H28年度	H27年度	
見学者数（人）	市内	106	120
	市外	223	242
	国外	0	2
	計	329	364
原料受入量（t）	4,686	4,328	
発電量（kWh）	718,174	728,360	
売電量（kWh）	493,905	530,849	
液肥利用量（t）※	7,365	7,733	

※ 4月1日から翌3月31日までの実績

主な財源

成果・課題

○液肥利用量は7,000tを越え、原料受入量、発電量なども前年並みで推移した。  
 ○液肥利用作物は水稻が中心のため、集中する時期の貯留、散布体制に課題がある。また、液肥散布では畑作への利用を模索するなど、年間を通して利用の平準化が必要である。  
 ○エコエネルギーセンター維持・管理・運営の方向性を早期に決定する必要がある。

事業所管課 市民環境部/市民環境課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	08水洗化推進支援事業																																																																																										
細事業名	01 水洗化推進支援事業			決算書	P.186																																																																																									
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備																																																																																												
	(旧計画項目)	18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備																																																																																												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																																																										
16,550千円	16,550千円	0千円	100.0%	26,870千円																																																																																										
目的	既存住宅において、新規排水設備工事を行った者に対して補助金を交付することにより、既存住宅の水洗化の促進及び地域経済の活性化を図る。																																																																																													
主要な事務・事業の概要	<p>公共下水道事業、集落排水事業及び市設置型浄化槽整備事業の区域内の既存住宅において、市内指定業者を利用して新規排水設備工事を行った者に対して、その工事費用の一部を補助した。</p> <p>○水洗化推進支援事業補助金 16,550千円</p> <p>&lt;交付実績&gt; (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">公共下水</th> <th colspan="2">集落排水</th> <th rowspan="2">浄化槽</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>公共</th> <th>特環</th> <th>農排</th> <th>漁排</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>42</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>44</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>2</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>51</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td></td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td></td> <td>13</td> <td>16</td> <td></td> <td>14</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>137</td> <td>36</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>32</td> <td>222</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;交付内訳&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>補助単価</th> <th>交付件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般世帯</td> <td>50千円</td> <td>152件</td> <td>7,600千円</td> </tr> <tr> <td>高齢者世帯</td> <td>200千円</td> <td>20件</td> <td>4,000千円</td> </tr> <tr> <td>グループ補助 3~10戸 8グループ</td> <td>70千円</td> <td>25件</td> <td>1,750千円</td> </tr> <tr> <td>グループ補助 11戸以上 1グループ</td> <td>100千円</td> <td>18件</td> <td>1,800千円</td> </tr> <tr> <td>グループ補助 高齢者世帯</td> <td>200千円</td> <td>7件</td> <td>1,400千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>222件</td> <td>16,550千円</td> </tr> </tbody> </table>							公共下水		集落排水		浄化槽	合計	公共	特環	農排	漁排	峰山	42				9	51	大宮	44		0		2	46	網野	51	11			1	63	丹後		12	0	0	6	18	弥栄			1		0	1	久美浜		13	16		14	43	合計	137	36	17	0	32	222		補助単価	交付件数	補助金額	一般世帯	50千円	152件	7,600千円	高齢者世帯	200千円	20件	4,000千円	グループ補助 3~10戸 8グループ	70千円	25件	1,750千円	グループ補助 11戸以上 1グループ	100千円	18件	1,800千円	グループ補助 高齢者世帯	200千円	7件	1,400千円	合計		222件	16,550千円
		公共下水		集落排水		浄化槽		合計																																																																																						
公共		特環	農排	漁排																																																																																										
峰山	42				9	51																																																																																								
大宮	44		0		2	46																																																																																								
網野	51	11			1	63																																																																																								
丹後		12	0	0	6	18																																																																																								
弥栄			1		0	1																																																																																								
久美浜		13	16		14	43																																																																																								
合計	137	36	17	0	32	222																																																																																								
	補助単価	交付件数	補助金額																																																																																											
一般世帯	50千円	152件	7,600千円																																																																																											
高齢者世帯	200千円	20件	4,000千円																																																																																											
グループ補助 3~10戸 8グループ	70千円	25件	1,750千円																																																																																											
グループ補助 11戸以上 1グループ	100千円	18件	1,800千円																																																																																											
グループ補助 高齢者世帯	200千円	7件	1,400千円																																																																																											
合計		222件	16,550千円																																																																																											
主な財源	府補 未来づくり交付金(水洗化推進支援補助金)					5,648千円																																																																																								
成果・課題	<p>○グループ補助制度が2年目を迎え、工事説明会等において積極的に周知を行った結果、グループ件数、グループによる補助金交付件数とも大きく増加した。</p> <p>○引き続き普及推進員による戸別訪問や工事説明会、広報紙等を通じて下水道事業に対する理解や各種接続支援策の周知を図るとともに、今後の接続推進の在り方について検討する必要がある。</p>																																																																																													
事業所管課	上下水道部/下水道整備課																																																																																													

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	09環境基本計画推進事業			
細事業名	01 環境基本計画推進事業			決算書	P.186		
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承					
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次世代への継承					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
105千円	207千円	102千円	50.7%	207千円			
目的	環境基本計画推進委員会を設置し、計画に基づく施策の推進と進捗管理、市民・事業者等との取組連携や促進による環境保全と環境資源を利用した地域の活性化を目指す。						
主要な事務・事業の概要	<p>環境基本計画推進委員会を開催し、計画に基づく施策の推進及び進捗管理、第2期環境基本計画策定に向けた総括、美しいふるさとづくり条例の改正、国民運動「クールチョイス」賛同と普及啓発、水をつなぐクリーン大作戦などについて審議等を行った。</p> <p>○環境基本計画推進委員会 105千円</p> <p>委員15人×2回開催(平成28年7月27日、平成29年3月23日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員謝金 92千円</li> <li>・委員費用弁償 13千円</li> </ul>						
	主な財源						
成果・課題	<p>○国民運動「クールチョイス」賛同及び普及啓発の実施により、計画内で未着手となっていた市の取組(ごみ減量優良協力店認定、環境保全リーダー認定)を進めることができた。</p> <p>○第2期環境基本計画の策定を見据え、計画の進捗状況の把握、評価及び総括を行っていくことと併せて、計画内で未着手となっている取組や数値目標の計画期間内での達成に向け、推進委員会で検証しながら、総合的に取り組んでいく必要がある。</p>						
事業所管課	市民環境部/市民環境課						

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	10海岸漂着物回収処理事業																						
細事業名	01 海岸漂着物回収処理事業			決算書 P.188																						
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承																								
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次代への継承																								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																						
12,282千円	12,286千円	4千円	99.9%	14,353千円																						
目的	京都府の補助事業を活用し海岸漂着物等の回収・処理事業を実施することで、海岸の良好な景観及び環境の保全を図る。																									
主要な事務・事業の概要	<p>京都府の補助事業を活用して地元区等に海岸清掃を委託し、海岸の清掃保持と良好な景観を維持するとともに、回収した海岸漂着物を市外で処理することで最終処分場の埋立量の抑制を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費 3千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員出張旅費</li> </ul> </li> <li>○役務費 3,801千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸漂着物処理手数料 3,772千円</li> <li>・廃棄物受入承認手数料等 29千円</li> </ul> </li> <li>○委託料 8,478千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・海水浴場清掃美化業務委託料 117千円</li> <li>・海岸漂着物回収処理委託料(府管理海岸分) 4,587千円</li> <li>・海岸漂着物回収処理委託料(市管理海岸分) 3,624千円</li> <li>・間人漁港漂流船引揚げ作業(2回) 150千円</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;回収事業実施海岸&gt;                              ※府管理海岸については10/10補助、市管理海岸については8~9/10補助)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>海岸名</th> <th>管理者</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久美浜町</td> <td>箱石湊宮葛野海岸</td> <td>府</td> <td rowspan="4">スポーツ 観光・交流課</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">網野町</td> <td>浜詰海岸、浅茂川海岸、小浜海岸</td> <td>府</td> </tr> <tr> <td>琴引浜(遊・掛津)</td> <td>市</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">丹後町</td> <td>上向下向海岸、後ヶ浜海岸、上野平海岸、久僧海岸</td> <td>府</td> </tr> <tr> <td>砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸</td> <td>府</td> </tr> <tr> <td></td> <td>尾和海岸、岩田海岸</td> <td>市</td> <td>管理課</td> </tr> </tbody> </table>				地域	海岸名	管理者	担当課	久美浜町	箱石湊宮葛野海岸	府	スポーツ 観光・交流課	網野町	浜詰海岸、浅茂川海岸、小浜海岸	府	琴引浜(遊・掛津)	市	丹後町	上向下向海岸、後ヶ浜海岸、上野平海岸、久僧海岸	府	砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸	府		尾和海岸、岩田海岸	市	管理課
	地域	海岸名	管理者	担当課																						
久美浜町	箱石湊宮葛野海岸	府	スポーツ 観光・交流課																							
網野町	浜詰海岸、浅茂川海岸、小浜海岸	府																								
	琴引浜(遊・掛津)	市																								
丹後町	上向下向海岸、後ヶ浜海岸、上野平海岸、久僧海岸	府																								
	砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸	府																								
	尾和海岸、岩田海岸	市	管理課																							
主な財源	府補	海岸漂着物回収処分費負担金 11千円 海岸漂着物等地域対策推進事業補助金(8~10/10) 9,669千円																								
成果・課題	<p>○市内15海岸で海岸清掃を行い、景観保護と環境保全を行うことができた。                              ○事業継続と財源確保に向けて、国及び府に対して支援の継続を求めていく必要がある。</p>																									
事業所管課	市民環境部/市民環境課																									

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	10海岸漂着物回収処理事業
細事業名	02 海岸漂着物発生抑制事業			決算書 P.188
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次代への継承		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
49千円	83千円	34千円	59.0%	83千円
目的	府の補助事業を活用し海岸漂着物等の発生抑制の啓発事業を実施することで、市民の海岸の保全意識の向上を図るとともに、市内海岸の良好な景観及び環境保全に繋げる。			
主要な事務・事業の概要	<p>京丹後市立久美浜中学校1年生(77人)が、海岸清掃「拾ってつなぐ丹後の海」を実施して海岸漂着物を回収した。その回収した漂着物を使ったビンゴ大会を行い、漂着物の量や品目、またその発生源について認識することにより、海岸の環境保全に関する意識を高めることができた。</p> <p>実施日：平成28年9月28日(水)                              会場：小天橋海水浴場~葛野海水浴場                              内容：海岸清掃・漂着物ビンゴ大会・環境学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費 43千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰者記念品 9千円</li> <li>・大会等参加者記念品 34千円</li> </ul> </li> <li>○需用費 6千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 4千円</li> <li>・燃料費 2千円</li> </ul> </li> </ul>			
	主な財源	府補	海岸漂着物等地域対策推進事業補助金(9/10)	43千円
成果・課題	<p>○海岸清掃を実施することで、ふるさとの海岸の環境保全に関する意識啓発を図ることができた。                              ○発生抑制に向けた意識啓発は、今後も継続していく必要がある。</p>			
事業所管課	市民環境部/市民環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	11資源循環推進事業		
細事業名	01 地域バイオマス利活用推進事業			決算書	P.188	
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進				
	(旧計画項目)	9 循環型社会の構築				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
3,056千円	3,124千円	68千円	97.8%	2,859千円		
目的	資源循環型社会の構築に向け、家庭生ごみや下水汚泥等をはじめとする未利用地域バイオマス資源のさらなる利活用を推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○生ごみ資源化推進 2,648千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>液肥運搬手数料 18千円</li> <li>生ごみ資源化等推進業務委託料 1,066千円</li> </ul> <p>※家庭で行う分別に係る資料作成、指導、地区説明会での説明のほか、廃棄物の減量化に関する啓発、出前講座等の業務を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分別生ごみ処理委託料 1,564千円</li> </ul> <p>【家庭系生ごみ】</p> <p>対象： 14地区 1,412世帯 内容： 家庭分別生ごみの専用袋による受入処理 実績： 39.3t/年</p> <p>【学校系生ごみ】</p> <p>対象： 市内保育所、幼稚園、小・中学校 内容： 給食調理における分別残渣の受入処理 実績： 26.5t/年</p> <p>○下水汚泥資源化推進 408千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水汚泥資源化パイロット事業</li> </ul> <p>※下水汚泥の減容と再資源化を進めるため、発酵乾燥の実証試験を平成27年度から継続して実施</p>					
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金			1,400千円	
成果・課題	<p>○生ごみ資源化5,000世帯への対象地区拡大を目指していたが、施設の運営管理計画の見直しにあたり、分別取組対象地区の拡大を14地区1,412世帯で停止した。</p> <p>○生ごみ資源化とエコエネルギーセンター運営の方向性を早期に決定する必要がある。</p> <p>○下水道汚泥の減容に係るデータ取得について、発酵過程がスムーズに進展せず、資源化の道筋をつけるまでには至らなかったことから、今後も継続検討が必要である。</p>					
事業所管課	市民環境部/市民環境課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	12新エネルギー対策推進事業		
細事業名	01 再生可能エネルギー推進事業			決算書	P.188	
総合計画	計画項目	6 新エネルギーの開発と活用促進				
	(旧計画項目)	7 新エネルギーの有効活用				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
296千円	310千円	14千円	95.4%	1,124千円		
目的	地域における再生可能エネルギーの促進体制と、地域が主体的に再生可能エネルギーを活用するための環境整備を行う。					
主要な事務・事業の概要	<p>京丹後市美しいふるさとづくり条例の改正等により、地産地消型エネルギー導入促進会議の機能を、美しいふるさとづくり審議会に統合した。</p> <p>○会議・協議等出席費用 296千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員旅費 260千円</li> <li>有料道路通行料 30千円</li> <li>駐車場使用料 6千円</li> </ul>					
主な財源						
成果・課題	<p>○再生可能エネルギー導入及び地産地消型の活用が必要であることから、再生可能エネルギー導入促進基本方針に沿い、環境整備を引き続き進める必要がある。</p> <p>○電力システム改革の進捗と地域実態に応じたエネルギー利活用について引き続き検討を進める必要がある。</p>					
事業所管課	市民環境部/市民環境課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	12新I社株-対策推進事業
細事業名	02 利活用推進プラットフォーム事業			決算書 P.188
総合計画	計画項目	6 新エネルギーの開発と活用促進		
	(旧計画項目)	7 新エネルギーの有効活用		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,161千円	5,194千円	33千円	99.3%	4,824千円

目的 地域主導による再生可能エネルギー事業の創出・展開を進めるための支援及び環境をプラットフォームとして整え、再生可能エネルギーの利活用を広く推進する。

主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○EV等充電ステーション運営管理 市内7か所 3,220千円 EV充電ステーションの管理経費のほか、有料化に伴う諸経費を支出           <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 (キーボックス等) 42千円</li> <li>・光熱水費 (施設供給電気料金) 2,877千円</li> <li>・修繕料 (久美浜駅EVC舗装) 42千円</li> <li>・通信運搬費 (認証システム利用料) 78千円</li> <li>・手数料 (建築確認完了検査、認証システム設定) 149千円</li> <li>・保険料 (火災保険料) 32千円</li> </ul> </li> <li>○公共施設太陽光発電設備の修繕等 71千円           <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕料 (ウッディいさなご配線ダクト) 43千円</li> <li>・負担金 (昆虫館電力用計器) 28千円</li> </ul> </li> <li>○地産地消型エネルギー導入促進支援補助金 1,870千円 再生可能エネルギー利用設備導入に対する補助金の交付 23件           <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電設備 11件 (63.68kW) 1,270千円</li> <li>・木質ストーブ 12件 (12台) 600千円</li> </ul> </li> </ul>
	主な財源 諸収入 EVCステーション貸付使用権利金 162千円
	成果・課題 ○EV等充電ステーションの運営、地産地消型エネルギー導入促進支援補助金制度等により、多面的に再生可能エネルギーの利活用推進を図ることができた。 ○EVCステーションの有料化により、さらに安定的かつ経済的な運営を行う必要がある。

事業所管課	市民環境部/市民環境課
-------	-------------

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	50環境衛生一般経費
細事業名	01 環境衛生一般経費			決算書 P.190
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次世代への継承		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
806千円	902千円	96千円	89.3%	1,261千円

目的 事務執行上必要となる一般経費の支出により、環境衛生事務を円滑に行う。

主要な事務・事業の概要	事務用品購入、職員旅費、公用車の維持管理経費のほか、負担金の支出を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費 214千円</li> <li>○需用費 207千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 67千円</li> <li>・公用車燃料費 117千円</li> <li>・公用車等修繕費 23千円</li> </ul> </li> <li>○役務費 (手数料、自動車保険料) 60千円</li> <li>○使用料及び賃借料 265千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気自動車リース料 (1台、大宮庁舎配置) 224千円</li> <li>・有料道路通行料、駐車場使用料 41千円</li> </ul> </li> <li>○負担金、補助及び交付金 60千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境首都創造ネットワーク分担金 50千円</li> <li>・バイオガス事業推進協議会負担金 10千円</li> </ul> </li> </ul>
	主な財源
	成果・課題 適切な事務執行により、環境衛生事業全般を円滑に実施することができた。

事業所管課	市民環境部/市民環境課
-------	-------------

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	08公害対策費	01公害対策事業
細事業名	01 公害対策事業			決算書 P.190
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
	(旧計画項目)	6 美しい自然環境の次代への継承		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
924千円	959千円	35千円	96.3%	1,293千円
目的	野焼きや騒音・振動・悪臭などの苦情・通報に対し、京都府や自治会等と連携し解決に向けた対応を行うことで、市民の健康で快適な生活環境の保全を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>◎野焼き 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく行政指導を行った(6件)。</p> <p>◎騒音/振動・悪臭苦情 騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく行政指導、当事者間の調整等を行った(12件)。</p> <p>◎水質・大気汚染対応 水質汚濁防止法、大気汚染防止法に基づく京都府の対応に協力した(5件)。</p> <p>◎自動車騒音常時監視 騒音規制法第18条に基づき、自動車騒音の常時監視及び面的評価業務を行い、本市内の環境基準の達成状況を把握した。 ・測定日：H28年10月6日～10月7日 ・測定場所：一般国道482号(峰山町矢田～長岡) ・測定結果：環境基準(目標値)=昼間70dB・夜間62dB 測定結果(1か所)=6-21時 66.9dB・22-5時 59.0dB</p> <p>○旅費 ・職員出張旅費 17千円</p> <p>○役務費 通信運搬費(騒音計借用についての送料) 2千円</p> <p>○委託料 887千円 ・草刈委託料(網野町小浜地内樋越川 年1回) 50千円 ・水質検査委託料 92千円 (峰山町：大糸川、風呂川、小西川、大谷川 網野町：三原川 年1回) ・自動車騒音常時監視面的評価業務委託 745千円</p> <p>○使用料及び賃借料 18千円 ・有料道路通行料 15千円 ・駐車場使用料 3千円</p>			
主な財源				
成果・課題	<p>○公害及び苦情案件に対し、迅速かつ適正に対応することができた。</p> <p>○野焼きに関する苦情が多く、野焼きの禁止に関する広報をさらに行っていく必要がある。</p> <p>○自動車騒音常時監視面的評価の実施により、本市の環境基準の達成状況を把握できた。</p>			
事業所管課	市民環境部/市民環境課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09火葬場費	02火葬場管理運営事業																				
細事業名	01 火葬場管理運営事業			決算書 P.190																				
総合計画	計画項目	29 効率的・効果的な行財政運営																						
	(旧計画項目)	34 その他基礎的な事務事業																						
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額																				
33,504千円	33,536千円	32千円	99.9%	35,221千円																				
目的	市民生活にとって必要不可欠な火葬場の運営にあたり、利用者が満足 of サービスが提供できるよう、施設の維持管理を行う。																							
主要な事務・事業の概要	<p>○施設維持管理及び火葬執行経費 27,125千円 ・臨時職員賃金及び社会保険料等(5人) 14,441千円 ・消耗品費(棺架台用五徳、香炭等) 447千円 ・燃料費(火葬炉用灯油、混合油) 2,533千円 ・光熱水費(電気代、下水道使用料、水道代) 6,111千円 ・修繕料(外壁修繕等) 242千円 ・火災保険料 46千円 ・残骨灰処理委託料 159千円 ・その他管理経費(自動ドア保守、環境測定委託料等) 3,146千円</p> <p>○霊柩車運行管理経費 6,139千円 ・霊柩車運行業務委託料 5,261千円 ・霊柩車維持管理経費(霊柩車4台(3台車検)) 878千円 (燃料費、修繕料、登録手数料、自動車損害保険料等)</p> <p>○公用車維持管理経費(軽箱バン1台、小型除雪車1台) 240千円 ・維持管理経費(燃料費、修繕料、登録手数料、自動車損害保険料等)</p> <p>[火葬場使用実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>火葬場使用料</th> <th>対前年度増減率</th> <th>使用件数</th> <th>対前年度増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>12,734千円</td> <td>6.5%</td> <td>919件</td> <td>6.6%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>11,957千円</td> <td>△9.1%</td> <td>862件</td> <td>△8.6%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>13,158千円</td> <td>4.2%</td> <td>943件</td> <td>4.2%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	火葬場使用料	対前年度増減率	使用件数	対前年度増減率	H28	12,734千円	6.5%	919件	6.6%	H27	11,957千円	△9.1%	862件	△8.6%	H26	13,158千円	4.2%	943件	4.2%
年度	火葬場使用料	対前年度増減率	使用件数	対前年度増減率																				
H28	12,734千円	6.5%	919件	6.6%																				
H27	11,957千円	△9.1%	862件	△8.6%																				
H26	13,158千円	4.2%	943件	4.2%																				
主な財源	使用料	火葬場使用料現年度分	12,734千円																					
	使用料	霊安室使用料	18千円																					
成果・課題	<p>○火葬場の使用件数は、前年度に比べて増加したが、適切な火葬執行ができた。</p> <p>○火葬炉の機械管理については、業務が停滞することのないように修繕計画を立てるとともに、故障対応時の対策に万全を期す必要がある。</p>																							
事業所管課	市民環境部/衛生センター																							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	10水道費	01簡易水道事業特別会計繰出金
細事業名	01 簡易水道事業特別会計繰出金			決算書 P.192
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備		
	(旧計画項目)	18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
292,705千円	292,705千円	0千円	100.0%	304,947千円
目的	総務省から示される簡易水道事業に対する繰出基準を参考に簡易水道事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。			
主要な事務・事業の概要	一般会計から簡易水道事業特別会計に対して繰出金を支出した。			
	【繰出金の内容】			
		項 目	繰 出 金	
	基準内	起債元利償還金 (臨時措置分)	6,714千円	
		起債元利償還金 (簡易水道事業債)	97,371千円	
		起債元利償還金 (未普及解消緊急対策分)	101,226千円	
		児童手当	920千円	
		小 計	206,231千円	
	基準外	起債元利償還金 (辺地・過疎対策事業分)	86,474千円	
		小 計	86,474千円	
	合 計	292,705千円		
主な財源				
成果・課題				
事業所管課	上下水道部/水道整備課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	10水道費	02水道事業会計繰出金	
細事業名	01 水道事業会計繰出金			決算書 P.192	
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備			
	(旧計画項目)	18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
48,985千円	48,986千円	1千円	99.9%	50,186千円	
目的	水道水の安定供給を確立するため、上水道統合事業を実施する水道事業会計を支援する。				
主要な事務・事業の概要	水不足が懸念される網野町、丹後町及び大宮町給水区域への水融通を行うための施設整備に対して、出資金を支出した。				
	○水道事業一般会計出資金	41,300千円	(事業費82,734千円)		
	(内訳)				
	中野浄水場改良事業	41,300千円	(事業費82,734千円)		
	○企業債元利償還繰出金 (統合前簡水分)	6,869千円			
	○児童手当分繰出金	816千円			
	市債	水道事業一般会計出資債 (合併特例債)			41,300千円
	成果・課題				
	事業所管課	上下水道部/水道整備課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	10水道費	02水道事業会計繰出金
細事業名	01 水道事業会計繰出金（繰越）			決算書 P.192
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備		
	(旧計画項目)	18 きれいな水を美しくかえす上下水道の整備		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
46,600千円	60,500千円	13,900千円	77.0%	60,500千円
目的	水道水の安定供給を確立するため、上水道統合事業を実施する水道事業会計を支援する。			
主要な事務・事業の概要	水不足が懸念される網野町、丹後町及び大宮町給水区域への水融通を行うための施設整備に対して、出資金を支出した。			
	○水道事業一般会計出資金 (内訳) 中野浄水場改良事業 46,600千円 (事業費 93,336千円)			
主な財源	市債 水道事業一般会計出資債(合併特例債)			46,600千円
成果・課題				
事業所管課	上下水道部/水道整備課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	02古紙リサイクル推進事業		
細事業名	01 古紙リサイクル推進事業			決算書 P.194		
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進				
	(旧計画項目)	9 循環型社会の構築				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
11,314千円	11,408千円	94千円	99.1%	14,054千円		
目的	再資源化可能な古紙等の回収活動団体に対し補助金を交付することにより、焼却ごみの減量及び古紙の再生利用を促進し、循環型社会の形成を推進する。					
主要な事務・事業の概要	共同作業所、小中学校PTA、婦人会等古紙回収団体に対し、回収量に応じた補助金を交付することで、市民のリサイクル意識の向上、焼却ごみ量の抑制及び古紙再生利用の促進を行った。					
	○需用費 49千円 ・消耗品費(庁舎用古紙回収コンテナ14個) ○負担金、補助金及び交付金(5円/kg) 11,265千円 ・申請件数 延べ173件 ・交付団体 54団体					
<内訳>				(単位:kg)		
年度	新聞紙	段ボール	雑誌	紙パック	雑がみ	合計
H28	765,910	894,830	576,680	11,175	4,410	2,253,005
H27	862,531	966,400	632,811	14,702	11,110	2,487,554
H26	964,960	980,920	613,250	13,037	10,560	2,582,727
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金		1,300千円		
	諸収入	オカダツヤボ 宝くじ市町村等交付金		9,305千円		
	諸収入	資源回収の古紙販売代金		159千円		
成果・課題	○補助金交付により各団体活動の動機付けと市民の分別意識の向上を図った。 ○平成29年2月の京丹後市廃棄物減量等推進審議会答申「雑がみの再資源化促進について」に基づき、身近な排出場所の確保、対象を絞り込んだ重点的かつ実践的な啓発等を行っていく必要がある。 ○焼却施設への負荷軽減及び最終処分場の延命化(焼却灰の減量)を図るため、更に「雑がみ」の分別・再資源化を推進する必要がある。					
事業所管課	市民環境部/市民環境課					



予算科目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	04小型家電リサイクル推進事業
細事業名	01 小型家電リサイクル推進事業			決算書 P.194
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
	(旧計画項目)	9 循環型社会の構築		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
731千円	810千円	79千円	90.2%	810千円

目的 小型家電リサイクル法に基づき、携帯電話等の使用済小型家電を分別回収・リサイクル処理することで、最終処分場の延命化と有用金属の再資源化を進める。

再生可能な使用済小型家電を国の認定事業者へ有料で引渡し再資源化を図るとともに、市外への持出処理により、最終処分場の延命化を図った。

○役務費 731千円

- ・小型電子機器運搬・処理（リサイクル）手数料

処理量	54,000kg
処理手数料単価	6.5円/kg (税抜)
運搬手数料単価	6.0円/kg (税抜)

主な財源

成果・課題

- 使用済小型家電を埋立てず外部処理に回すことで、再資源化と埋立ごみの減量につなげることができた。
- 周知を継続し、定着させることにより、更なる有用金属の回収・再資源化に寄与する。

事業所管課 市民環境部/市民環境課

予算科目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	50清掃総務一般経費
細事業名	01 清掃総務一般経費			決算書 P.194
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
	(旧計画項目)	8 ごみ・廃棄物の適正処理		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
6,413千円	6,519千円	106千円	98.3%	6,455千円

目的 各自治会による資源ごみステーションの管理及び分別指導の実施並びに廃棄物減量等推進審議会で諸施策について審議し、ごみの適正排出及び減量化を推進する。

○報酬 204千円

- ・廃棄物減量等推進審議会委員報酬（委員数20人）  
 諮問内容：廃棄物減量等協力謝金の在り方、雑がみ回収促進について 他  
 開催回数：3回（9/29 10/27 1/30）

○報償費 6,046千円

- ・報償金（廃棄物減量等協力謝金）

<廃棄物減量等協力謝金支払実績>

	ステーション数	協力謝金
峰山市民局管内	49か所	1,260千円
大宮市民局管内	38か所	1,048千円
網野市民局管内	88か所	1,422千円
丹後市民局管内	101か所	685千円
弥栄市民局管内	35か所	560千円
久美浜市民局管内	100か所	1,071千円
計	411か所	6,046千円

※地区ごとの「資源ごみステーション数×6,500円」又は「住基人口×100円」のいずれか多い額を支払い

○旅費 100千円

- ・費用弁償（廃棄物減量等推進審議会委員） 24千円
- ・職員出張旅費 76千円

○需用費 16千円

- ・消耗品費等

○役務費 16千円

- ・通信運搬費（アンケート郵送料）、保険料

○有料道路通行料 21千円

○京都府廃棄物対策協議会負担金 10千円

主な財源

成果・課題

- 廃棄物減量等推進審議会に対し諮問を行い、「廃棄物減量等協力謝金の在り方」及び「雑がみ再資源化の促進」等について答申を受け、施策の方向性を定めることができた。
- 各地区内の資源ごみステーションにおける分別指導及びステーションの管理を地元自治会の協力を得て行うことにより、資源ごみの分別水準を維持することができた。

事業所管課 市民環境部/市民環境課

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	02家庭ごみ収集運搬事業		
細事業名	01 家庭ごみ収集運搬事業			決算書	P.194	
総合計画	計画項目	7	ごみの削減と再資源化の推進			
	(旧計画項目)	8	ごみ・廃棄物の適正処理			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
247,598千円	247,625千円	27千円	99.9%	255,810千円		
目的	一般廃棄物処理基本計画に基づき、家庭ごみのステーション収集を行うとともに、指定ごみ袋及び収集カレンダーを作成し、ごみの分別・減量を推進する。					
主要な事務・事業の概要	市で発注した指定ごみ袋について、市内取扱店舗等に販売を委託し市民へ提供した。また、一般廃棄物収集運搬業務を民間事業者へ委託し、家庭ごみの収集を行った。					
	○需用費	22,133千円				
	・消耗品費	21,786千円				
	可燃ごみ袋(大:170万枚、小:65万枚、ミニ:16.8万枚)					
	不燃ごみ袋(大:12.5万枚、小:15万枚)					
	資源ごみ回収ボックス:200個、ビン・缶回収:150個					
	資源ごみ回収ネット(網野町):100枚					
	資源ごみ回収スタンド(網野町):100組					
	・印刷製本費	347千円				
	収集カレンダー(25,300枚)					
雑がみ・容器包装プラ分別チラシ(20,000枚)						
○役務費	7,737千円					
・手数料						
ごみ袋販売手数料						
(ごみ袋販売委託業者145者、173店舗 ※H29.3.31現在)						
<H28年度販売枚数>	(単位:枚)					
	種類	大	小	ミニ		
	可燃ごみ	1,722,500	664,000	182,400		
	不燃ごみ	102,650	43,600			
○委託料	217,709千円					
・一般廃棄物収集運搬委託料(7業者) ※生ごみ収集を含む						
○償還金利子及び割引料(ごみ袋納入代金返還金)	19千円					
主な財源	手数料	可燃ごみ(ごみ袋)処理手数料	67,691千円			
	手数料	粗大ごみ処理手数料	9千円			
	手数料	一般廃棄物収集運搬業許可手数料	130千円			
成果・課題	○指定ごみ袋の購入に関して、その在庫数量を適正に管理するとともに、市内の各店舗に販売を委託することで、市民の利便性を確保することができた。					
	○家庭ごみを適正に収集・運搬することで、地域の衛生環境の保全ができた。 ○廃棄物処理法の規定に従い事業を適正に執行し、公衆衛生を向上させることで、安心・快適な市民生活を確保していく必要がある。					
事業所管課	市民環境部/市民環境課					

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	03峰山クリーンセンター管理運営事業			
細事業名	01 峰山クリーンセンター管理運営事業			決算書	P.194		
総合計画	計画項目	7	ごみの削減と再資源化の推進				
	(旧計画項目)	8	ごみ・廃棄物の適正処理				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
452,488千円	452,626千円	138千円	99.9%	474,355千円			
目的	生活環境の保全と公衆衛生の向上のため、中間処理(焼却・分別保管)施設の維持管理業務を行い、市内で発生する可燃ごみ及び資源ごみを円滑、適正に処理する。						
主要な事務・事業の概要	市内で発生する一般廃棄物(可燃ごみ・資源ごみ)を処理するため、施設の運営及び維持管理等に必要な経費を支出した。						
	○クリーンセンター運営管理委託料	248,458千円					
	○クリーンセンター整備工事設計監理委託料	3,672千円					
	○基幹的設備改良事業に係る発注支援等業務委託料	16,924千円					
	○クリーンセンター整備工事費	77,976千円					
	○その他の経費(薬品代・光熱水費・地元対策交付金等)	105,458千円					
	【峰山クリーンセンター搬入状況】	(単位:t)					
		総搬入量	業者持込	直接持込			
		重量	対前年度	重量	重量		
	H28	17,220	△2.2%	10,424	6,796		
H27	17,602	△2.6%	10,633	6,969			
H26	18,070	△3.9%	10,723	7,347			
H25	18,808	△0.5%	10,679	8,129			
○可燃ごみ焼却量	16,251t						
○資源ごみ処理量	930t						
アルミ缶 49t、スチール缶 81t、PETボトル 110t、容器包装プラ 262t							
無色ビン 175t、茶色ビン 170t、その他ビン 64t、発砲スチロール 19t							
<ダイオキシン類測定結果(平成28年10月3日、4日、11月8日測定)>							
1~4号炉排ガス・焼却灰、飛灰は全て基準値(ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> )以下の数値を計測 ※ng(ナノグラム)は、10億分の1g							
主な財源	使用料・手数料	公有財産使用料、峰山クリーンセンター持込ごみ処理手数料	29,566千円				
	国補	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	5,640千円				
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	58,000千円				
	諸収入	資源ごみ売却代金	10,926千円				
	市債	峰山クリーンセンター整備事業債(合併特例債)	4,000千円				
成果・課題	○焼却処理に伴う排ガス中のダイオキシン類を含む公害関係の検査結果は全て法定基準値内であり、市内で発生する可燃ごみ及び資源ごみを安全かつ適正に処理することができた。						
	○市内小学生等を対象に施設見学会を実施し(19校)、ごみ減量に対する啓発を行うことができた。 ○平成43年度までの稼働を見据え、基幹的設備改良工事を進めていく必要がある。						
事業所管課	市民環境部/市民環境課						

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	04峰山最終処分場管理運営事業
細事業名	01 峰山最終処分場管理運営事業			決算書 P.196
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
	(旧計画項目)	8 ごみ・廃棄物の適正処理		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
24,389千円	24,658千円	269千円	98.9%	23,619千円

目的 不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理（埋立・再資源化）するとともに、浸出水処理施設等の適正な維持管理業務を行うことで、市民の生活環境の保全を図る。

主要な事務・事業の概要 主に峰山町内から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物（金属類・廃家電・廃プラスチック類）の分別を行い、再資源化に向けた持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。

- 最終処分場運営管理委託料 12,122千円
- 水質検査等委託料（ダイオキシン類を含む） 1,311千円
- 資源ごみ（廃家電・廃プラスチック品）処理委託料 1,458千円
- その他の経費（薬品代・光熱水費・施設運用協力金等） 9,498千円

【峰山最終処分場搬入状況】 (単位：t)

	総搬入量		業者持込	直接持込
	重量	対前年度	重量	重量
H28	552	△2.3%	130	422
H27	565	△49.4%	132	433
H26	1,117	39.5%	129	988
H25	801	△22.8%	137	664

<ダイオキシン類測定結果（平成28年11月30日測定）>

全て基準値（放流水：10pg-TEQ/ℓ、地下水・上流・下流：1pg-TEQ/ℓ）以下の数値を計測

※pg（ピコグラム）は、1兆分の1g

<リサイクル処理量>

金属類（売却）48t、廃プラスチック（処分）29t、廃家電品（処分）2t

主な財源	手数料	峰山最終処分場持込ごみ処理手数料	1,428千円
	手数料	不燃ごみ(ごみ袋)処理手数料	737千円
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	10,000千円
	諸収入	資源ごみ売却代金	511千円

成果・課題 ○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。  
○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働を行うことができた。  
○施設の稼働予定年限である平成35年度末に向けて埋立残存量（H28.10月：70%終了）を監視しながら、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討する必要がある。

事業所管課 市民環境部／市民環境課

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	05大宮最終処分場管理運営事業
細事業名	01 大宮最終処分場管理運営事業			決算書 P.198
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
	(旧計画項目)	8 ごみ・廃棄物の適正処理		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
27,170千円	27,429千円	259千円	99.0%	29,064千円

目的 不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理（埋立・再資源化）するとともに、浸出水処理施設等の適正な維持管理業務を行うことで、市民の生活環境の保全を図る。

主要な事務・事業の概要 主に大宮町内から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物（金属類・廃家電・廃プラスチック類）の分別を行い、市外の再生業者等へ持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。

- 最終処分場運営管理委託料 14,612千円
- 水質検査等委託料（ダイオキシン類を含む） 643千円
- 資源ごみ（廃家電・廃プラスチック品）処理委託料 337千円
- 不燃物処理管理棟（旧たばこ乾燥場）屋根修繕料 2,916千円
- その他の経費（薬品代・光熱水費・施設運用協力金等） 8,662千円

【大宮最終処分場搬入状況】 (単位：t)

	総搬入量		業者持込	直接持込
	重量	対前年度	重量	重量
H28	1,492	△1.6%	148	1,344
H27	1,517	13.4%	157	1,360
H26	1,338	△23.6%	120	1,218
H25	1,752	△7.4%	113	1,639

<ダイオキシン類測定結果（平成28年10月4日測定）>

全て基準値（放流水：10pg-TEQ/ℓ、地下水・上流・下流：1pg-TEQ/ℓ）以下の数値を計測

※pg（ピコグラム）は、1兆分の1g

<リサイクル処理量>

金属類（売却）65t、廃プラスチック（処分）8t、廃家電品（処分）14t

主な財源	手数料	大宮最終処分場持込ごみ処理手数料	5,246千円
	手数料	不燃ごみ(ごみ袋)処理手数料	737千円
	諸収入	資源ごみ売却代金	353千円

成果・課題 ○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。  
○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働を行うことができた。  
○施設の稼働予定年限である平成45年度末に向けて埋立残存量（H28.10月：71%終了）を監視しながら、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討する必要がある。

事業所管課 市民環境部／市民環境課

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	06網野最終処分場管理運営事業
細事業名	01 網野最終処分場管理運営事業			決算書 P.198
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
	(旧計画項目)	8 ごみ・廃棄物の適正処理		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
59,915千円	60,111千円	196千円	99.6%	64,597千円
目的	不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理(埋立・再資源化)するとともに、浸出水処理施設等の適正な維持管理業務を行うことで、市民の生活環境の保全を図る。			
主要な事務・事業の概要	主に網野・丹後・弥栄町内から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また再生可能な廃棄物(金属類・廃家電・廃プラスチック類)の分別を行い、市外再生業者等へ持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最終処分場運営管理委託料 23,587千円</li> <li>○水質検査等委託料(ダイオキシン類を含む) 3,187千円</li> <li>○浸出水処理施設整備工事 9,828千円</li> <li>○資源ごみ(廃家電・廃プラスチック品)処理委託料 1,006千円</li> <li>○その他の経費(薬品代・光熱水費・施設運用協力金等) 22,307千円</li> </ul>			
	【網野最終処分場搬入状況】 (単位:t)			
	総搬入量		業者持込	
	重量	対前年度	重量	重量
H28	1,199	△27.2%	262	937
H27	1,646	20.9%	269	1,377
H26	1,362	△24.7%	263	1,099
H25	1,809	0.4%	273	1,536
	<ダイオキシン類測定結果(平成28年11月29日測定)>			
	全て基準値(放流水:10pg-TEQ/l、地下水・上流・下流:1pg-TEQ/l)以下の数値を計測			
	※pg(ピコグラム)は、1兆分の1g			
	<リサイクル処理量>			
	金属類(売却)65t、廃プラスチック(処分)14t、廃家電品(処分)8t			
主な財源	手数料	網野最終処分場持込ごみ手数料	1,802千円	
	手数料	不燃ごみ(ごみ袋)処理手数料	1,483千円	
	諸収入	資源ごみ売却代金	686千円	
成果・課題	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。			
	○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働を行うことができた。			
	○施設の稼働予定年限である平成32年度末に向けて埋立残余量(H28.10月:81%終了)を監視しながら、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討する必要がある。			
事業所管課	市民環境部/市民環境課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	07久美浜最終処分場管理運営事業
細事業名	01 久美浜最終処分場管理運営事業			決算書 P.200
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
	(旧計画項目)	8 ごみ・廃棄物の適正処理		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
36,517千円	36,604千円	87千円	99.7%	38,590千円
目的	不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理(埋立・再資源化)するとともに、浸出水処理施設等の適正な維持管理業務を行うことで、市民の生活環境の保全を図る。			
主要な事務・事業の概要	主に久美浜町内から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物(金属類・廃家電・廃プラスチック類)の分別を行い、市外の再生業者等へ持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制及び再資源化率の向上を図った。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最終処分場運営管理委託料 21,514千円</li> <li>○水質検査等委託料(ダイオキシン類を含む) 1,447千円</li> <li>○浸出水処理施設整備工事 5,153千円</li> <li>○資源ごみ(廃家電・廃プラスチック品)処理委託料 487千円</li> <li>○その他の経費(薬品代・光熱水費・施設運用協力金等) 7,916千円</li> </ul>			
	【久美浜最終処分場搬入状況】 (単位:t)			
	総搬入量		業者持込	
	重量	対前年度	重量	重量
H28	553	2.2%	112	441
H27	541	△16.3%	124	417
H26	646	△7.8%	113	533
H25	700	7.3%	125	575
	<ダイオキシン類測定結果(平成28年10月3日測定)>			
	全て基準値(放流水:10pg-TEQ/l、地下水・上流・下流:1pg-TEQ/l)以下の数値を計測			
	※pg(ピコグラム)は、1兆分の1g			
	<リサイクル処理量>			
	金属類(売却)35t、廃プラスチック(処分)8t、廃家電品(処分)2t			
主な財源	手数料	久美浜最終処分場持込ごみ処理手数料	558千円	
	手数料	不燃ごみ(ごみ袋)処理手数料	995千円	
	諸収入	資源ごみ売却代金	341千円	
成果・課題	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。			
	○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準内であり、施設の安全稼働を行うことができた。			
	○施設の稼働予定年限である平成38年度末に向けて埋立残余量(H28.10月:57%終了)を監視しながら、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討する必要がある。			
事業所管課	市民環境部/市民環境課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	08有害ごみ処理事業		
細事業名	01 有害ごみ処理事業			決算書	P.202	
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進				
	(旧計画項目)	8 ごみ・廃棄物の適正処理				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
3,468千円	3,469千円	1千円	99.9%	5,604千円		

目的 市内で発生する有害ごみ（使用済み乾電池、蛍光管）を安全・適正に処理するとともに再資源化を図ることで、市民の生活環境の保全を図る。

主要な事務・事業の概要  
 市内で発生する「使用済み乾電池」や「蛍光管」など水銀を含む製品の処理を適正に行った。  
 ○需用費 690千円  
 消耗品費（蛍光管用蓋付きドラム缶、乾電池用蓋空きドラム缶等）  
 ○委託料 2,778千円  
 有害ごみ処理委託料  
 ・廃蛍光管・廃乾電池処理委託料（65円/kg税別） 2,100千円  
 ・廃蛍光管・廃乾電池運搬委託料（21円/kg税別） 678千円

<乾電池及び蛍光管の処理状況> (単位：t)

	総搬入量		乾電池	蛍光管
	重量	対前年度	重量	重量
H28	29.9	△46.1%	18.2	11.7
H27	55.5	51.2%	27.6	27.9
H26	36.7	23.6%	23.8	12.9
H25	29.7	0.3%	29.7	0

※平成25年度分の蛍光灯の処理については、搬入量が少なかったため未処理

主な財源

成果・課題  
 有害ごみ（使用済み乾電池、蛍光管等）の処理を適正処理可能な専門事業者へ委託することで、適正処理及び再資源化することができた。

事業所管課 市民環境部/市民環境課

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	50塵芥処理一般経費		
細事業名	01 塵芥処理一般経費			決算書	P.202	
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進				
	(旧計画項目)	8 ごみ・廃棄物の適正処理				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
983千円	1,041千円	58千円	94.4%	1,041千円		

目的 旧尾坂埋立処分地の湧水処理施設の維持管理及び水質等検査並びに旧不燃物処理場の検査等を行うことで、環境への負荷状況を監視する。

主要な事務・事業の概要  
 旧尾坂埋立処分地の湧水処理施設の保守管理（機器点検、薬品補充、沈殿物場外処分等）並びに旧不燃物処理場周辺地域の井戸水及び排水重金属検査を行った。  
 また、旧丹後半島清掃センター及び旧久美浜町清掃センターの汚染負荷量賦課金を支出した。  
 ○需用費 673千円  
 ・消耗品費（薬品代：次亜塩素酸ソーダ・事務用品） 423千円  
 ・光熱水費 250千円  
 ○委託料 226千円  
 ・水質検査等委託料（旧尾坂埋立処分地、旧不燃物処理場）  
 ○使用料及び賃借料 35千円  
 ・土地借上料（旧尾坂埋立処分地：地権者4人）  
 ○公課費 49千円  
 ・汚染負荷量賦課金（旧丹後半島清掃センター） 41千円  
 ・汚染負荷量賦課金（旧久美浜町清掃センター） 8千円

※汚染負荷量賦課金  
 公害健康被害補償制度（昭和49年9月）により、補償給付及び公害保険福祉事業に必要な費用の相当分をばい煙発生施設設置者から徴収し、公害健康被害への補償へ充てるもの。賦課金の納付義務者は、昭和62年4月以前にばい煙発生施設等を設置し、更にその施設が硫酸化合物を排出するもので、最大ガス量の合計が基準以上であった施設の設置者である。現在本市には、汚染負荷量賦課金対象施設は無いものの、昭和62年4月以前にばい煙発生施設等の設置していた者として、施設の廃止後も、公害健康被害への補償が終了するまで賦課される。

主な財源

成果・課題  
 旧尾坂埋立処分地（網野町尾坂）跡、旧不燃物処理場（峰山町矢田）跡の水質等検査は法定義務によるものではないが、周辺地域の生活環境の保全を目的に今後も環境負荷への監視を継続する必要がある。

事業所管課 市民環境部/市民環境課

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	02し尿収集事業																										
細事業名	01 し尿収集事業			決算書	P.204																									
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進																												
	(旧計画項目)	8 ごみ・廃棄物の適正処理																												
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額																										
229,123千円	229,478千円	355千円	99.8%	234,850千円																										
目的	市内のし尿を竹野川衛生センター、網野衛生センター及び久美浜衛生センターの各施設に収集運搬することで、適正な処理をする。																													
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○竹野川衛生センター収集運搬事業（委託） 164,854千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・し尿収集運搬委託料（2者） 158,369千円</li> <li>・し尿処理券販売委託料（64か所） 3,295千円</li> <li>・その他収集関連経費（郵便代、ハガキ印刷等） 3,190千円</li> </ul> </li> <li>○網野衛生センター収集運搬事業（直営） 22,184千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時職員賃金及び社会保険料等（5人） 14,753千円</li> <li>・し尿収集運搬車維持管理経費（5台） 3,931千円 （消耗品費、燃料費、修繕料、登録手数料、自動車損害保険料等）</li> <li>・し尿処理券販売委託料（25か所） 2,022千円</li> <li>・その他収集関連経費（郵便代、ハガキ印刷等） 1,478千円</li> </ul> </li> <li>○久美浜衛生センター収集運搬事業（委託） 42,085千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・し尿収集運搬委託料（1者） 40,249千円</li> <li>・し尿処理券販売委託料（24か所） 1,110千円</li> <li>・その他収集関連経費（郵便代、ハガキ印刷等） 726千円</li> </ul> </li> </ul>																													
	<p>[各衛生センターのし尿収集等実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>収集件数</th> <th>収集量</th> <th>収集委託料</th> <th>し尿対象人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>竹野川衛生センター</td> <td>22,583件</td> <td>13,501kl</td> <td>158,369千円</td> <td>12,134人</td> </tr> <tr> <td>網野衛生センター</td> <td>14,594件</td> <td>9,570kl</td> <td>直営</td> <td>8,601人</td> </tr> <tr> <td>久美浜衛生センター</td> <td>4,553件</td> <td>3,440kl</td> <td>40,249千円</td> <td>3,092人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>41,730件</td> <td>26,511kl</td> <td>198,618千円</td> <td>23,827人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※し尿対象人口はH29年3月31日現在</p>						区分	収集件数	収集量	収集委託料	し尿対象人口	竹野川衛生センター	22,583件	13,501kl	158,369千円	12,134人	網野衛生センター	14,594件	9,570kl	直営	8,601人	久美浜衛生センター	4,553件	3,440kl	40,249千円	3,092人	合計	41,730件	26,511kl	198,618千円
区分	収集件数	収集量	収集委託料	し尿対象人口																										
竹野川衛生センター	22,583件	13,501kl	158,369千円	12,134人																										
網野衛生センター	14,594件	9,570kl	直営	8,601人																										
久美浜衛生センター	4,553件	3,440kl	40,249千円	3,092人																										
合計	41,730件	26,511kl	198,618千円	23,827人																										
主な財源	手数料	し尿処理手数料	132,586千円																											
	諸収入	市有自動車損害共済金	26千円																											
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画収集や口座振替について、作業及び受付時に制度のしくみを案内することにより、経費をかけずにし尿収集業務の効率を上げることができた。</li> <li>○下水道への接続や人口減少等により、し尿収集件数及び収集量が減少する中で、さらなる計画収集の普及により、収集運搬の効率化を図る必要がある。</li> </ul>																													
	事業所管課	市民環境部／衛生センター																												

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	03網野衛生センター管理運営事業															
細事業名	01 網野衛生センター管理運営事業			決算書	P.204														
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進																	
	(旧計画項目)	8 ごみ・廃棄物の適正処理																	
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額															
86,147千円	86,538千円	391千円	99.5%	93,758千円															
目的	施設を管理運営することで、網野町域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。																		
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設管理 64,627千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設運転管理経費（薬品、A重油、電気代等） 30,383千円</li> <li>・施設運転管理委託料（施設管理、受付事務） 29,808千円</li> <li>・貯留槽清掃委託料 3,182千円</li> <li>・火災保険料 26千円</li> <li>・その他施設管理経費 1,228千円 （消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等）</li> </ul> </li> <li>○公用車管理及び工事 21,520千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公用車維持管理経費（軽トラック1台） 136千円 （修繕料、登録手数料、自動車損害保険料）</li> <li>・施設設備改修工事費 21,384千円 （オゾン設備整備、散気管用定量弁交換、スクリーンプレス整備等）</li> </ul> </li> </ul>																		
	<p>[し尿及び浄化槽汚泥受入実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">し尿</th> <th colspan="2">浄化槽汚泥</th> </tr> <tr> <th>受入件数</th> <th>受入量</th> <th>受入件数</th> <th>受入量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>網野町</td> <td>14,594件</td> <td>9,570kl</td> <td>869件</td> <td>2,639kl</td> </tr> </tbody> </table>						区分	し尿		浄化槽汚泥		受入件数	受入量	受入件数	受入量	網野町	14,594件	9,570kl	869件
区分	し尿		浄化槽汚泥																
	受入件数	受入量	受入件数	受入量															
網野町	14,594件	9,570kl	869件	2,639kl															
主な財源	手数料	し尿処理手数料	37,476千円																
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料	2,208千円																
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○し尿及び浄化槽汚泥について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。</li> <li>○昭和62年4月から稼働している施設であり、老朽化が進行していることから、適切な修繕対応により、施設を維持していく必要がある。</li> </ul>																		
	事業所管課	市民環境部／衛生センター																	

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	04竹野川衛生センター-管理運営事業		
細事業名	01 竹野川衛生センター-管理運営事業			決算書 P.206		
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進				
	(旧計画項目)	8 ごみ・廃棄物の適正処理				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
145,883千円	147,514千円	1,631千円	98.8%	165,965千円		
目的	施設を管理運営することで、峰山町、大宮町、丹後町、弥栄町域のし尿及び浄化槽汚泥（網野町域の一部を含む）の適正処理と市内全域の下水道汚泥の焼却処理を行う。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設管理 97,660千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>施設運転管理経費（薬品、A重油、電気代等） 54,432千円</li> <li>施設運転管理委託料（施設管理、受付事務） 36,029千円</li> <li>貯留槽清掃委託料 1,783千円</li> <li>火災保険料 41千円</li> <li>備品購入費（卓上型pHメータ） 152千円</li> <li>その他施設管理経費 5,223千円 （消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安全管理業務委託料等）</li> </ul> </li> <li>○公用車管理及び工事等 48,223千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>公用車維持管理経費（3tダンプ1台、軽自動車1台） 616千円 （燃料費、修繕料、登録手数料、自動車損害保険料、自動車重量税）</li> <li>施設設備改修工事及び法面維持補修工事費 46,407千円 （汚泥乾燥焼却設備整備、高度処理設備整備、汚泥処理設備整備等）</li> <li>地元対策交付金 1,200千円</li> </ul> </li> </ul>					
	[し尿及び浄化槽汚泥受入実績] (単位：件、kl) [下水道汚泥受入実績]					
区分	し尿		浄化槽汚泥		施設名	受入量 (t)
	受入件数	受入量	受入件数	受入量		
峰山町	8,940	5,136	794	2,237	峰山・大宮浄化センター	704
大宮町	8,124	4,720	704	1,884	橋浄化センター	100
網野町	-	-	98	500	丹後浄化センター	89
丹後町	4,843	3,277	342	1,040	農業集落排水施設(弥栄町)	254
弥栄町	676	368	125	302	久美浜浄化センター	401
合計	22,583	13,501	2,063	5,963	網野浄化センター	52
					合計	1,600
主な財源	手数料	し尿処理手数料	57,476千円			
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料	4,998千円			
	諸収入	下水汚泥処理料	24,022千円			
	諸収入	衛生センター-電気代等負担金	1千円			
成果・課題	○し尿、浄化槽汚泥及び下水道汚泥処理について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。 ○平成11年4月から稼働している施設であり、老朽化が進行していることから、施設の長寿命化計画を見直すとともに、適切な修繕対応により、施設を維持していく必要がある。					
	事業所管課	市民環境部/衛生センター				

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	05久美浜衛生センター-管理運営事業
細事業名	01 久美浜衛生センター-管理運営事業			決算書 P.208
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進		
	(旧計画項目)	8 ごみ・廃棄物の適正処理		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
67,778千円	68,187千円	409千円	99.4%	78,540千円
目的	施設を管理運営することで、久美浜町域のし尿及び浄化槽汚泥（網野町域浄化槽汚泥の一部を含む）を適正に処理する。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設管理 62,486千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>施設運転管理経費（薬品、電気代、修繕料等） 6,748千円</li> <li>施設運転管理委託料（施設管理、受付事務） 9,940千円</li> <li>貯留槽清掃委託料 1,687千円</li> <li>火災保険料 26千円</li> <li>下水道使用料 43,217千円 （前処理後、久美浜浄化センターで処理）</li> <li>その他施設管理経費 868千円 （消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安全管理業務委託料等）</li> </ul> </li> <li>○工事 5,292千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備改修工事費 （破砕機整備、細目スクリーン整備、給水ユニットポンプ交換）</li> </ul> </li> </ul>			
	[し尿及び浄化槽汚泥受入実績]			
区分	し尿		浄化槽汚泥	
	受入件数	受入量	受入件数	受入量
久美浜町	4,553件	3,440kl	725件	3,532kl
網野町	-	-	80件	479kl
合計	4,553件	3,440kl	805件	4,011kl
主な財源	手数料	し尿処理手数料	36,159千円	
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料	3,355千円	
成果・課題	○し尿及び浄化槽汚泥について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。 ○平成元年4月から稼働している施設であり、老朽化が進行していることから、施設の長寿命化計画を見直すとともに、適切な修繕対応により、施設を維持していく必要がある。			
	事業所管課	市民環境部/衛生センター		